

# 令和4年度 第1回 小金井市地下水保全会議

日 時：令和4年7月14日（木）午後2時から

場 所：小金井市役所本町暫定庁舎第2会議室

## 次 第

### 1 開会

### 2 委嘱状交付

### 3 委員自己紹介

### 4 事務局自己紹介

### 5 会長・副会長互選

### 6 地下水保全会議の概要（資料1）

### 7 議題

(1) 前回会議録について（資料2）

(2) 地下水影響工事に係る基準の事前協議（確認事項）について（資料3）

### 8 報告事項

(1) 小金井市新庁舎・（仮称）新福祉会館建設について（口頭報告）

(2) 令和3年度水質監視及び湧水調査について（資料4）

(3) 令和3年度地下水位測定について（資料5）

(4) 令和4年度環境政策課環境係の事業計画について（資料6）

(5) 地球温暖化対策地域推進計画について（参考資料2）

### 9 その他

### 10 次回審議会の日程について

<配布資料>

資料 1 地下水保全会議の概要

資料 2 令和 3 年度第 3 回地下水保全会議 会議録

資料 3 地下水影響工事に係る基準について

資料 4 令和 3 年度水質監視測定及び湧水調査報告書

資料 5 令和 3 年度水質監視測定及び湧水・地下水位調査等委託 地下水位測定報告書

資料 6 令和 4 年度環境政策課環境係の事業計画について

<参考資料>

(1) 地下水保全会議委員名簿【参考資料 1】

(2) 地球温暖化対策地域推進計画について【参考資料 2】

# 小金井市地下水保全会議の概要

令和4年7月14日  
環境部環境政策課

## 1 小金井市の地下水について

小金井市の地名は、黄金に値する豊富な水が出ることを示す「黄金の井戸」に由来したと言われており、現在も市民が小金井らしさの筆頭として「水」をあげるほど、地下水・湧水に縁の深いまちです。特に、国分寺崖線沿いの湧水や湧水を集めて流れる野川は、小金井市民の貴重な財産です。

しかし、高度成長期以降、急速な都市化が進み、市内に無数にあった湧水源は大幅に減少し、湧水量も激減しました。この結果、渇水期には野川が頻繁に瀬枯れを起こすようにもなりました。このような事態を受け、小金井市と小金井市民（事業者）は、雨水貯留施設及び雨水浸透枡の設置を推進し、雨水浸透施設については他に類を見ない設置率を誇っているところです。

また、小金井市では、「小金市の地下水及び湧水を保全する条例」（以下「条例」という。）を制定し、「地下水及び湧水の保全・利用に係る計画」（以下「計画」という。 ※計画は条例第17条により環境基本計画の中に定めるものとなっており、「第3次小金井市環境基本計画」の91ページから118ページにかけて掲載されています。）を策定すると共に、学識経験者等で構成される地下水保全会議を組織し、専門的な見地から地下水及び湧水の保全に努めているところです。

## 2 地下水保全会議の役割

小金井市地下水保全会議は、条例第8条に基づき市長が設置する、行政内の会議体であり、学識経験者等5人で組織しています。

小金井市では同条第3条において、市の責務として、「事業者に地下水及び湧水の保全に関する情報を適切に提供し、意識の啓発を図るとともに、市が実施する地下水及び湧水の保全に関する施策に協力を求めること」を定めており、同4条では、事業者の責務として、「事業活動を行うに当たっては、地下水及び湧水の保全のために必要な措置を講ずるとともに、市が実施する地下水及び湧水の保全に関する施策に協力」することを求めています。

そこで市は、適切な情報を提供し、事業者に協力を求めるためには、地下水の専門家に意見を伺う必要があると考え、学識経験者等による地下水保全会議を組織して、適切な情報をいただいているところです。

(参考)

○小金井市の地下水及び湧水を保全する条例 一部抜粋

(市の責務)

第3条 市は、次に掲げるところにより、貴重な飲料水源及び自然環境資源である地下水及び湧(ゆう)水の保全に係る必要な措置を講じなければならない。

- (1) 地下水及び湧(ゆう)水を将来にわたって保全するために、総合的かつ計画的な施策を実施すること。
- (2) 市民及び事業者に地下水及び湧(ゆう)水の保全に関する情報を適切に提供し、意識の啓発を図るとともに、市が実施する地下水及び湧(ゆう)水の保全に関する施策に協力を求めること。

(事業者の責務)

第4条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、地下水及び湧(ゆう)水の保全のために必要な措置を講ずるとともに、市が実施する地下水及び湧(ゆう)水の保全に関する施策に協力し、第21条に基づく指導に従う責務を有する。

(地下水保全会議)

第8条 市長は、地下水に関する情報分析等のために、学識経験者等で組織する小金井市地下水保全会議(以下「会議」という。)を設置するものとする。

- 2 会議は、市長が委嘱する委員5人以内をもって組織する。
- 3 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。
- 4 会議に、会長及び副会長各1人を置き、委員のうちから互選により定める。
- 5 会長は、会議を代表し、会務を総理する。
- 6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 7 前各項に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、規則で定める。

### 3 過去の地下水保全会議での主な議題について

#### (1) 令和元年度

- ア 地下水及び湧水の保全・利用に係る計画
- イ 新庁舎・(仮称)新福祉会館建設基本設計について

#### (2) 令和2年度

- ア 地下水及び湧水の保全・利用に係る計画の改訂について
- イ 新庁舎・(仮称)新福祉会館建設について

#### (3) 令和3年度

- ア 小金井市新庁舎・(仮称)新福祉会館建設実施設計について
- イ 地下水影響工事に係る基準について

#### 【その他】

水質監視測定及び湧水調査報告書について（毎年報告）

# 令和 3 年度第 3 回

## 小金井市地下水保全会議会議録

## 令和3年度第3回小金井市地下水保全会議会議録

- 1 開催日 令和4年2月14日（月）
- 2 時間 午前10時00分から午前11時03分まで
- 3 場所 WEB会議
- 4 議題 (1) 前回会議録について（資料1）  
(2) 地下水影響工事に係る基準について（資料2）
- 5 その他
- 6 次回審議会の日程について
- 7 出席者 (1) 委員  
会 長 楊 宗興  
副会長 山中 勝  
委 員 徳永 朋祥  
委 員 石原 成幸  
委 員 名取 雄太  
(2) 事務局員  
環境政策課長 山口 晋平  
環境係長 岩佐健一郎  
環境係専任主査 荻原 博  
環境係主事 鳴海 春香  
環境係 阪本 晴子
- 8 傍聴者 0名



## 令和3年度第3回小金井市地下水保全会議会議録

楊会長            定刻になりましたので、これより令和3年度第3回小金井市地下水保全会議を開会いたします。まず始めに事務局から事務連絡と本日の配布資料の確認をお願いします。

岩佐係長        それでは、はじめに事務連絡と配布資料の確認をさせていただきます。

                  まず事務連絡、ご発言の際のお願いです。

                  新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今回の会議はWEB会議での開催とさせていただきます。質疑応答等ご発言が聞き取りづらくなる場面も想定されますので、ご発言の際には、ご自身のお名前を先におっしゃった上で、可能な範囲ではっきりとご発言いただきますようお願いいたします。前回に引き続き、同じお願いで大変恐縮ではございますが、円滑な会議の運用及び会議録の作成にご協力よろしくをお願いいたします。

                  続きまして資料の確認です。次第の下段、＜配布資料＞をご覧ください。本日の会議資料は、資料1及び資料2の2点となり、皆様に郵送させていただいたものと内容の変更はございませんので、お手元にある資料をご参照ください。

                  以上、お手元の資料に不足がございましたら事務局までお申し付けください。

                  どうぞよろしくをお願いいたします。以上です。

楊会長            事務連絡と配付資料の確認が終わりました。何か御質問はございますでしょうか。

                  特になければ、次第の2、議事に移ります。

                  次第の2、議事（1）前回会議録についてを議題といたします。

                  事務局から説明をお願いします。

岩佐係長        資料1、令和3年度第2回地下水保全会議会議録をお手元に御用意

ください。

前回の会議における御発言につきまして、本資料を事前にお目通しいただきまして御確認いただいていることと思いますけれども、訂正がある場合は、ページ番号と御発言の委員名及び訂正内容をお知らせいただければと思います。

先日、石原先生のほうからは、5点ほど御自身の御発言内容の修正依頼をいただいておりますので、事務局のほうで修正をさせていただければと思います。

本日、本審議会において御承認いただいた後は、ホームページへの掲載手続を進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願います。

以上でございます。

楊会長 説明が終わりました。前回会議における各自の御発言について、本日配付の修正資料のほか、本日、この場で御指摘のある場合は、挙手にて御発言をお願いいたします。いかがでしょうか。

名取委員 議事録の11ページの中段、私の発言ですが、2段落目、「建物の規模の話は、もともと規則に書いていらっしゃるものが変わるので」とありますが、この「変わるので」のところが、恐らく「かかるので」だったのではないかなと。

岩佐係長 はい。すみません、ありがとうございます。

名取委員 よろしくお願ひできればと思います。私からは以上です。

岩佐係長 ありがとうございます。こちらの部分、「規則に書いていらっしゃるものがかかるので」ということで、修正をさせていただければと思います。ありがとうございました。

楊会長 ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。  
石原委員の修正のポイントも教えていただけると助かるんですけれ

ども。

岩佐係長 確認させていただきます。まず、6ページですね。6ページの真ん中の3段落目のところの4行目ですね。「負圧」という部分ですが、漢字が負けるに圧になっていますけれども、不完全燃焼の不に圧ということで「不圧」への修正ということで、御依頼のほうをいただいています。石原先生、こちらの部分は、これでよろしいでしょうか。

石原委員 結構です。お願いします。

岩佐係長 はい。それと、その1行下、「基本的に気圧、深いほうの地下水」と続いていますけれども、この「基本的に気圧」のところを「被圧」、被るに圧、ということで修正の依頼をいただいております。

続きまして、7ページの部分、石原先生の御発言の部分の4行目、「負担が大きいとおりますので」というところが「負担が大きいです」ということで、修正の御依頼をいただいております。

続いていきたいと思えます。14ページになります。14ページ、上から2行目、当初、「国のほうでも国総研なり」ということで、「国総研」というところが、「防災科研」ということで、修正の御依頼をいただいております。

最後、18ページ、下から2行目、「粘度系の難透水層」、「粘度系」のところ、度が気温の度ではなくて、土ということで「粘土系」への修正を御依頼いただいていますので、以上の5点になります。

楊会長 ありがとうございます。ほかには、修正の点はいかがでしょうか。

それでは、もしないようであれば、令和3年度第2回会議の会議録については、ただいまの訂正分を反映させたものを承認するというところでよろしいでしょうか。

各委員の同意がいただけましたので、以上で次第2、議事（1）前回議事録について、を終了いたします。

それでは、議事（2）地下水影響工事に係る基準についての審議に当たり、事務局から資料が配付されていますので、説明をお願いいた

します。よろしく申し上げます。

鳴海主事

議事の（２）、地下水影響工事に係る基準について御説明させていただきます。

前回会議でも、地下水影響工事に係る基準について、を議題とさせていただきます。前回は、工事について広く御意見をお伺いさせていただいたところですが、本日は、開発行為に当たって、事業者が環境政策課へ事前協議に来た際に、地下水への影響という観点から、どういった内容を立てるべきかを明確にするため、資料を作成したいと考え、資料２として、本日、御用意させていただきました。

資料の左側に、聞き取り項目が並んでおり、上から地下構造が地下水帯水層に及んでいるか。基礎杭は礫層等を貫通するか。連続地中壁等の構造を採用しているか。地盤改良工法を採用しているか。仮設時に山留工を採用しているか。補助工法を採用しているかになります。

こちらの仮設時の工法になんですけれども、任意仮設となっている場合は、工法が確定した段階で事業者さんから工法を御報告いただくことを想定しております。

これらの項目について聞き取りをし、全ての項目について該当がない場合については、地下水に影響を及ぼすおそれは低いと考え、工事に係る書類の提出は求めないことにします。

本資料は、環境政策課の事務職員が窓口において使用することを想定しており、専門的な内容を省き、可能な限り平易な内容としております。

これらの項目のうち、１つでも該当がございまして、それ以上の聞き取りについて専門的な技術、知識を要する部分が生じるため、事務局での判断は困難になると考えております。

事務局での判断が困難となった場合は、地下水保全会議の議員の皆様様の技術的な助言を賜りたいと考えているところですが、どのような形式でお伺いするかどうかについては、別途御相談させていただければと存じます。

本資料につきましては、土木の観点で項目を挙げさせていただいているところですが、項目の過不足について御意見をいただければ幸い

です。

また、適正管理化学物質などの化学物質の使用といったその他の観点からの確認についても御意見をいただければ幸いです。

専門家である委員の皆様には大変恐縮ではございますが、専門的、技術的な内容に踏み込んだ資料となりますと、環境政策課職員での取扱いが難しくなるため、一部の困難案件については専門家の皆様に個別にお伺いすることを前提とさせていただき、その他、多数の案件を判断できるような内容で御議論いただければ幸いです。

事務局からは以上です。

楊会長

御意見、御質問がありましたらお願いいたします。今回、本日の会議のメインの内容のところですので、少しじっくり時間をかけて、委員の皆様の御意見をいただければと思います。この地下水保全会議としての役割、どういう役割があるべきか、というようなことについても御意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

山中副会長

1個と2個目について見ると、1個目のほうが汎用性が高いといえますか、1個目が「いいえ」だと、2個目は絶対「はい」になり得ないと思うんですけれども、フローチャート自体が何か成立していないといえますか、帯水層に及んでいないにもかかわらず、貫通することは、今、絶対がないので、礫層とか、難透水層を。

これは、難易度とすると、多分、下のほうが高いんですかね。ですから、フローチャートとすると、何かちょっと分かりませんが、もしかすると逆なのかなという気がしたんですが、いかがでしょうか。

すなわち、一番下の補助工法を採用しているというので、「いいえ」だったら次の仮設時に山留工を採用しているかどうかというのを聞いていく形なのではないでしょうか。

最後の一番最後に地下構造が帯水層に及んでいるかどうかを確認するというフローチャートであるべきのような気がするんですけれども、いかがでしょうか。違いますかね。

楊会長

この件に関して、事務局のほうとしては何か説明いただけることは

ありますか。

鳴海主事 フローチャートとしての構成がどうかというところで御意見をいただいたんですけども、聞くべきであろうという項目を順番に列挙、順番にといいますか、項目立てて掲載させていただいているところでございまして、今、御指摘いただいたような順序の在り方ですとか、こういう場合は、次にこういう話に発展するんじゃないかというような技術的な順序立てというのはできていないような形になっておりますので、その辺り、今、御指摘いただいた点につきましても、ほかの委員の皆様から御意見をいただいて、順番を整理するなどの対応を取っていきたいというふうに考えてございます。

以上です。

楊会長 了解しました。ほかの委員の皆さんは、この件に関してはいかがでしょうか。私もこのあたりは全く素人なので、あまり意見を出せないんですけども。

石原委員 ちょっと考え方にもよるかとは思いますが、地下構造というのを建物、例えば地下1階、2階とかという形で考えますと、基礎杭とかというのは、その下に小金井市さんの新しい新庁舎ではないですけども、支持層まで入るということで、かなり深い場合もあるんで、山中先生がおっしゃっていることはそのとおりだと思います。と同時に、地下構造というのは、建物本体という形で理解すれば、基礎杭のほうがかかなり深くまで入るということは、ケースとしては十分あり得るかと思っております。

以上です。

楊会長 ありがとうございます。ほかの委員の皆様は、この件に関していかがでしょうか。

徳永委員 よろしいでしょうか。

楊会長           はい。お願いいたします。

徳永委員       今、山中先生がおっしゃられたところは、何を見ているかということが、地下の地質の構造なのか、それとも工法なのかというのが、どういう順番で評価しますかということが直列になっているので、ちょっと見にくいということではないかなという気がするんですね。

最初の2つは、地下の構造がどうなっていて、それに対して構造がどういう取合いになりますかという話がかかれていて、後半の4つぐらいは、どういう工法をとりますかという話になっているので、何かちょっとそこをうまく整理して、どの部分が小金井市さんとして心配をされるのかということに応じてはい、いいえというのを、並列で物事を見ておかれてもいいのかなというような気がしたのですが。

ただ、一方で、地下の構造がどうなっているかということと、工法をどう取りますかというのは組み合わせになってしまうので、そこを先ほど鳴海さんがおっしゃられたように、技術的な判断が難しい中でやるとすれば、少し多めに事務局での判断困難という方向に最初のうちははじいてしまって、何回か整理していく中で、この部分は事務的に対応できるというような、行政のお立場としての確信を持たれた部分は、これを更新していくという形で、少しずつスムーズにやっていくというようなフローチャートにされるという考え方もあるかなという気はいたしました。

ただ、これ、繰り返しで恐縮ですが、見ているものがかなり違うものを並べているというところがあるので、その整理をすると大分見やすくなるかなというのが、山中先生がおっしゃられた部分のコメントに対する私の考え方です。

楊会長           ありがとうございます。じゃあ、よろしくお願いします。

名取委員       ちょっと基本的な知識がちょっと不足していて順番がどうか、いいかというのは私からちょっとコメントは難しいんですが、フローチャートという意味で言えば、これはかなりシンプルで「はい」と「いいえ」で、全て「はい」の場合は、事務局の判断が困難になるので、フ

ローチャートとしては1つにまとめられる気がします。次のいずれかに該当する場合、「はい」であれば事務局判断。「いいえ」であれば全部市のほうで低いと考えられるになるので。

仮設時に山留工を採用するだけ、ちょっともう1個分岐があるので、そこだけ少し工夫が必要ですが、基本的には、この1、2、3、4、5か6をいずれかに該当する場合は事務局判断困難になります。いずれにも該当しない場合だけ低いと考えられるになると、フローチャートとしては、そういう整理が分かりやすいんじゃないかなと思いました。

以上です。

楊会長           ありがとうございます。山中副会長。

山中副会長       フローチャートの順番という形で言ってしまったんですけども、フローチャートの順番もそうなんです、少なくとも1番と2番は入れ替えたほうが良いという。

というのは、1番が成立すれば、もう2番は、あってもなくてもどちらでも。1個目、これが少なくとも逆じゃないと、フローチャートの意味が1番目と2番目で成立しないんじゃないかと思うんですけども。

というのは、2番目のほうが範囲が大きいので、及んでいる可能性があれば、もう2番目は必ず「はい」になりますので、ちょっとこの順番がおかしいかなと。

徳永委員           山中先生、僕の理解は、礫層に構造物を乗っているやつというのがあって、杭を打たずにべたで乗っているようなやつだと、1番ははいだが、2番はいいえというのがあるんじゃないかという気がするんですけども。

山中副会長       1番が「はい」になってしまえば、もう右に行きますので。

徳永委員           1番が「いいえ」で、2番が「はい」もあるんじゃないかな。地下



構造の定義なんですけれども、先ほどの石原さんがおっしゃったように、地下、建物として供用する部分を地下構造と言うとすると、そいつを礫層に当てずに、杭は深く打ってしまうというような……。

山中副会長　　そういうケースもあり得るということですね。

徳永委員　　それはだから、地下構造をどう定義するかということによるような気がするので、そこは明確にしておくことはいいかなという気はいたしました。

山中副会長　　地下構造というのは、私は杭も地下構造の一部だというふうに認識していましたので、そうじゃないケースがあるということですかね。

徳永委員　　そういうことかなと思いました。

山中副会長　　分かりました。ありがとうございます。そうなのであれば、このようなフローチャートでも成立するのかなと思いました。2番目が結局フローチャートがあっても生きないんじゃないかなという意見でした。よろしくお願いします。

楊会長　　ありがとうございます。じゃあ、この件に関しては、よろしいでしょうか。

事務局の方としても、いかがでしょうか。何かはつきりさせておく点がありますか。

鳴海主事　　今、このお示しした資料に対して、項目に関しての御意見というよりは、見せ方といいますか、チャートとして成立しているのかどうかというところを主に御意見いただいたかなというふうに思っております。

ちょっと構造の話と、工法の話が混ざっているという徳永委員からの御指摘もありましたし、名取委員のほうからもこういった形でなくても1つが該当すれば成立するのではというような御意見をいただき

ましたので、ちょっと項目はこのまま生かして、あまり順番が影響しないような形といいますか、1つチェックしたらもう該当するというか、事務局で判断できませんというような形の見せ方をちょっと変更しようかなというふうに、今、委員の皆様から御意見をいただいたところで考えたところでございますので、そのような形でよろしかったでしょうか。ちょっとその点、確認させていただければと思います。

以上です。

徳永委員 発言してよろしいでしょうか。

楊会長 はい。

徳永委員 今、鳴海さんがおっしゃられた部分は、うまく整理していただければと思うんですけども、一つ、確認しておきたいのは、上から2番目の基礎杭は礫層または難透水層を貫通すると書いているんですが、これは、小金井市さんの地下の地質の分布みたいなものを考えたときに、礫層というのは、武蔵野礫層とよく言われているようなものを見る。難透水層というのは、何をターゲットにしているかというのは明確なんでしょうか。

それから、崖を降りたところというのは、何かちょっと違うとかというようなことがあるんですか。何かこういう書き方をすることによって、実は分かりにくくしているということはないかなという印象を持ったんですけども、そこは大丈夫ですか。

鳴海主事 地質の分析が市としてできていないので、特段この層にというイメージは、現時点では持っていないです。

ボーリング調査を事業者さんがされるとしますので、それを見させていただくようなイメージで考えていたところです。

以上です。

徳永委員 それで御判断ができればいいんですけども、例えば一つ思ったのは、小金井市さんの地下の代表的な地下の地質の分布はこんなふうに

なっていますというような模式的なイメージを1枚共有しておかれて、それに対してこの礫層に当たるということは地下水として考えないといけない。この難透水層を触るということになるとすると、小金井市さんとしては少し丁寧に考えないといけないというふうに取り扱っているんですということを、行政のお立場の方も理解し、工事をする人も、そういうふうに行政の方々が考えているんだなということを共有するという意味で、もし小金井市さんの地下の代表的な断面みたいなものがつくれるのであれば、それをこのフローチャートと併せてお持ちになっておくと、様々な使い方ができていいかなというふうに思います。これはコメントですが。

楊会長           ありがとうございます。鳴海さん、いかがでしょうか。

鳴海主事           小金井市としては、今まで開発事業者さんからボーリングのデータを情報提供という形でいただいておりますので、それらを活用して、今、おっしゃったような代表的な断面、小金井市の地下層という形で、持てるかどうか検討させていただきたいと思います。

                  以上です。

楊会長           了解しました。じゃあ、その辺の検討をよろしく願いいたします。

名取委員           ちょっとまた別の観点からなんですが、先ほど化学物質の関係からいかがですかという事務局からの御質問がありましたので、ちょっと考えてみたんですが、化学物質の適正管理制度、そちらの制度自体は、工場、指定作業所を対象にしているので、今回の対象とはなかなか重なりにくいのかなという気がしますので、全く重ならないわけじゃないと思いますけれども、重なる部分は少なそうだなという気がしますので、そこと直接絡めるのは難しそうだなという気がしました。

                  一方で、化学的な観点で気になるのは、土壤汚染が確認されているような土地ですね。特に、上部に土壤汚染がある場合で、杭などを打つと、土壤汚染、地下水汚染を下に落としてしまうというようナリスクがあるので、そこは注意が必要だなと思っているんですが、ただ、

結局、土木的に基礎杭が貫通するとかがなければ大丈夫なので、具体的な条件としては挙げにくいんですね。

なので、土壌汚染、地下水汚染が確認されていれば注意はしてほしいんですが、今回のこれの条件に載せてもなかなかうまくいかないなという、感想でしかないですが。

今回の基準に当てはまったとしても、書類の提出を求めるだけですよ。なので、その助言として工法を変えてくださいという話はあるのかもしれないですけども、ちょっとすみません、意見がまとまらなくて申し訳ないんですが、土壌汚染、地下水汚染については確認はしていただきたいなという気持ちはありますが、ちょっと条件としてどう絡めたらいいかがちょっとまだ整理できていないです。

一旦、以上でございます。

楊会長 鳴海さんから何かありますか。

鳴海主事 御意見ありがとうございます。土壌汚染があると明確に分かっている地点は、杭を深く打つとそれが流れてしまう、汚染が広がってしまうおそれがあるという御指摘、それに対してどういうフォローができるのかというところが、またこの資料に落とし込むのが、検討するのが必要なのかなというふうに理解しておりますが、そのような形でよろしいでしょうか。

名取委員 そうです。土壌汚染が確認されているということで、土壌汚染対策法なり、環境確保条例なりで確認されている土地は、そちらの土壌汚染の規制のほうである程度カバーができておられると思うので、そこは必ず確認はしてほしいんですけども、この場合、そういう土壌汚染関係の法・条例にかからないものも一部含まれてくるので、そういったところも土壌汚染の有無は確認していただいて、当然、落ちないような方法でやっていただくように御助言いただければありがたいなと思うところです。

楊会長 ありがとうございます。それでは、ほかの件について御意見いただ

ければと思います。

徳永委員　　ちょっと1個だけ、これは知りたいので教えていただきたいんですけども、小金井市さんには、宙水というのは存在していますか。

鳴海主事　　すみません、小金井市では把握できていないのが現状です。

徳永委員　　石原委員、何か御存じのことございますか。

石原委員　　申し訳ないですけども、私も正確な情報を持っているわけじゃないんですが、東京都内ですと、先生方も御存じのように世田谷区とか何か結構多いですし、宙水の存在、小金井市さんでも全くないとは言えないと思うんですが、全体的に多摩丘陵とか狭山丘陵のほうに行くに従って深くなってくるところが多い、マイマイズ井戸とか何かということでもお分かりのとおり、全体に深くなってきているところが多いものですから、すごく広範囲にわたるような宙水というのは、小金井市さんのほうではほぼ存在しないんじゃないかというふうに予想できています。不正確で大変申し訳ありませんけれども、以上です。

徳永委員　　ありがとうございます。宙水があって、その宙水を使っているようなところがあるとすると、礫層というような物の見方で統一的に見られないことがあるかもしれないというのは、一定の留意は必要かなという気がいたします。それは、やや特殊な事例になるかもしれないので、そういうものをうまくスクリーニングができるように、例えば計測されたボーリング掘削の地下水面が一般にこの地域で考えられるよりも高いとか、そんなような傾向があるときには、うまくスクリーニングするようなことができ得るかなという気もしますので、必要に応じて御検討いただければいいのかなというふうに思います。

　　以上です。

楊会長　　ありがとうございました。

石原委員　　すみません。今の徳永先生のお話でちょっとだけ思いついたんですが、参考にお話しさせていただくと、小金井市さん、市民の皆さんのほうで井戸の観測をずっとされていたと思うんですけども、その中で非常に、基本的には不圧の浅層井戸だと思うんですが、その中でも非常に浅い井戸ですとか、周りに比べて深さが違うようなところは、今、徳永先生が言われている宙水に相当するような可能性もあるかと思うので、そういうところの資料も活用できるかというふうに考えました。参考なんですけれども、よろしくをお願いします。

楊会長　　この件は、よろしいでしょうか。徳永委員、ほかに何かありますか。

徳永委員　　特に私からは以上でございます。ありがとうございました。

楊会長　　はい。了解しました。ほかにこの件に関して御意見はありますでしょうか。

もしないようであれば、以上で議事2を終了いたします。

それでは、議事2はこれで終了ですが、続いて次第3、その他として、事務局、委員問わず何かございますでしょうか。

岩佐係長　　よろしいでしょうか。

ありがとうございます。今期の地下水保全会議の委員の皆様の任期が今年度の3月31日をもちまして満了という形になります。

徳永委員、石原委員、山中副会長につきましては、来期におきましても継続の御内諾をいただいております、名取委員につきましては、東京都の人事異動の関係もまたありますので、流動的な状況です。

楊会長につきましては、今期で御勇退されるということになります。このメンバーで会議は最後となりますので、恐れ入りますけれども、お一方ずつ今期2年間の地下水保全会議の感想ですとか、今後の地下水保全会議に望まれる方向性などございましたら、今後の参考にさせていただければと思いますので、お1人3分程度で御意見等を賜ればと存じますので、よろしくお願ひいたします。

そうしましたら、最初、楊会長のほうからお願いしてよろしいでし

ようか。お願いします。

楊会長

分かりました。会長の任務を務めさせていただきましたけれども、私は、この会議で議題になっているメインの水文学とか、土木とかに関しては、どちらかというところかなり専門外で、なかなか理解が及ばない状況で、皆さん、この会議の運営にとってあまりお役に立てなかったような気もいたします。この辺、申し訳ないなと思っております。

地下水ということに関しては、私も少なからず関心のあるテーマで、授業なんかでも取り上げたり、小金井市ではこんなことをやって努力していますよとかいうことを授業でも話したりはしていたので、関心のあるところではあって、全国的にも地下水は非常に関心は高く、努力されているということに関しては敬意を払っております、今後ともこの全国的に有名な小金井の地下水というものをぜひ保全を進めて、推進していただけたらと思っております。

なかなか今回の杭をどこまで打つかとかという辺りなんかは、一筋縄ではいかない、ちょっと難しい面もあるなとは思いますが、ぜひ来年度以降も委員の皆様のお知恵をお借りしながら、合理的な内容で進めていただければと思います。

私として、最後に、もう一つ申し上げたいと思うのは、少し長めの視野でこういった問題に関しては考えていただけたらと思います。どうということかといいますと、例えば一番関心のあるのは、地下水がどう変化してきているのか、そういう経時的な変化だと思うんですね。そういうのを實際上、もう増えているのか、減っているのか、そういうようなデータも蓄積して行って、それを可視化できるようにすると随分見通しもよくなると思います。

それから、将来どういうふうにしていきたいのかというようなことに関しても、ぜひビジョンというか、そういう観点も持っていただくと、非常に有益なのではないかなと考えておりますので、ちょっと口幅ったい言い方になりましたけれども、そんなことを考えておりました。

私からは以上ということにさせていただきます。

岩佐係長 楊会長、どうもありがとうございました。  
それでは、続きまして、徳永委員、お願いいたします。

徳永委員 2年間、大変お世話になりました。楊先生には、会をうまくまとめていただいて、運営していただきましたことを御礼申し上げます。

私自身も地下水学を研究の中心に置いている人間として、基礎自治体というお立場で小金井市さんが様々な努力をされているということに関して常に敬意を払ってまいりました。

地域の方々に最も近い自治体は基礎自治体であって、そういうところが地下水という自分たちの足元の資源、環境について丁寧に見るということをずっと続けておられるということは、これは本当に素晴らしいことだと思います。

先ほど楊先生からもございましたが、これが時間方向にもちゃんと継続して、世代をまたいで大事な環境、自分たちの環境だという意識を持っていくというようなところに進んでいくということ、これは僕、何回か教育というのも大事だと思いますみたいなことを発言させていただきましたが、今までやってこられていることを、その地域の方々とより強くつないでいくというようなことも意識した活動が次期できていくと、非常によいかなというところに大きな期待を持っています。

そういうところが、実は、私たちの次の年代の人たちが同じように物を考えていくということが自然にできていくということにつながっていくのではないかとということがあって、それができるのがやっぱり基礎自治体さんではないかと思うわけです。

そういう意味で、国がやるべきことは国がやることがある中、やっぱり小金井市さんがやられていることということを、丁寧につなげていくということで、来期も参画させていただくということでございますので、そういうような観点もまた一緒に共有して行って、一緒に考えるということができればいいかなと思います。

いずれにせよ、この2年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

岩佐係長 徳永先生、どうもありがとうございました。それでは、続きまして、



石原委員、よろしく願いいたします。

石原委員 楊先生、本当にいろいろお世話になりましてありがとうございます。いろいろ分野が違うところで大変勉強になる部分がありまして、本当にありがとうございます。

それから、また私のことになりますけれども、本来、このような席に末席を汚すこと自身、私自身いろいろ考えるところがございまして、本当ならば交代するべきといった気持ちは最初から持っております。

ただ、いろいろな中で、現在、どちらかというところと研究とか、先生方と同じ土俵というよりも、私自身のバックボーンとしての技術屋といえますか、図面が理解できる、ですとか、工法がよく分かるですとか、そういう視点からのフォローもさせていただけるのであれば、それはそれで私の役割として少しはお役に立てるのではないかというふうに考えて、継続することになった次第です。

皆様にいろいろ御迷惑をかけることもあるかと思うんですけれども、引き続き御指導いただければと思います。よろしく願いいたします。以上です。

岩佐係長 石原先生、どうもありがとうございました。続きまして、山中副会長、よろしく願いいたします。

山中副会長 楊先生、私よりも多分長い間、委員を務めて、非常に長い間お疲れさまでございました。一度、楊先生の代わりに司会を務めさせていただいたことがあるんですけれども、なかなか私なんかうまくすることができずに、楊先生のような形でうまくなかなかまとめるのは大変だなというふうに日々感じていた次第です。

楊先生のお話の中にもありましたし、徳永先生のお話の中にもありましたけれども、小金井市として、やっぱり継続的に長く地下水を保全していくということが、すごく大事なことだと私も日々感じています。

私自身は、隣の市に住んでいますので、非常に小金井市は身近に感じていまして、研究でも国分寺崖線湧水というのが、私自身すごく関

心を持っている、どういう流出過程で出ているかと、すごく関心を持っているところで、こういった水環境を維持していくというのはすごく大事ですので、教育、恐らく小金井市さん自身も雨水浸透ますの設置ですとか、これまでのお話の中でも出てまいりましたけれども、そういったことで保全をしていきたいというお考えもあり、継続的にというお考えもあると思います。

その中で、多分、小学生とか、中学生とか、あとは地元の方にいろいろこういった保全が大事だという教育をする場面が必要になってくると思うんですけれども、先々のことを考えますと、できる範囲で、もしそういうふうなニーズがありましたら、当然できる範囲ですけれども、そういった側面で御協力させていただきたいと思いますので、引き続きどうぞよろしく願いいたします。

2年間、どうもありがとうございました。

岩佐係長

山中副会長、どうもありがとうございました。

それでは、続きまして、最後に名取委員、よろしく願いいたします。

名取委員

楊先生、これまでの会議のおまとめありがとうございました。私自身も専門は土木というよりは、土木地質ではなくて化学系で土壤汚染とか地下水汚染が経験が長いものですので、土木系の部分での貢献は限定的だったかなと思っていますが、科学の視点とか、行政的な視点で少しでも貢献できていたら光栄だなと思っています。

ほかの先生方の非常に見識高い御意見を伺いまして、私自身も大変勉強になりました。ほかの会議と比べましても非常に専門的でかなり建設的な議論ができていく会議だなというふう感じておりまして、正直に言いまして、参加していて非常に面白い会議だったなというふうに私は思っております。ありがとうございました。

地下水保全の取組に関して、ほかの先生方も申し上げていましたけれども、小金井市さんは、ほかの自治体に比べて熱心に取り組んでくださっていますので、引き続きほかの自治体をリードしていただきたいなと思っていますし、東京都としてもぜひ一緒にいろいろな取組

をさせていただきたいなというふうに思っております。

来期につきましては、先ほど御紹介がありましたけれども、まだ私自身、人事異動がどうなるか分からないものですから保留とさせていただきますが、引き続き人事異動なくここにいられるのであれば、微力ながらもお力になれるかなというふうには思っております。

ほかの先生方におかれましても、これを御縁にぜひ、既に徳永委員については御協力いただいておりますけれども、東京都のほうの会議などでも、ぜひ御助言、御指導いただけたらというふうに思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

以上でございます。

岩佐係長

名取委員、どうもありがとうございました。皆様、どうもありがとうございました。

本当に、今、御意見いただきました内容につきましては、引き続き、今後の会議運営のほうに参考にさせていただければと思います。どうもありがとうございました。

そうしましたら、環境政策課長の山口のほうからも一言、御挨拶をさせていただきます。よろしく願いいたします。

山口課長

本日もお忙しいところ、またコロナ禍の中、会議への御参加、誠にありがとうございました。

今期は、本日の会議をもちまして終了となりますことから、本来であれば環境部長から御挨拶させていただくべきところでございますけれども、他の公務の関係で不在となりまして、一言から、私から御礼の御挨拶差し上げたいと思います。

今期は、現在も猛威を振るってございます新型コロナウイルス感染症感染拡大防止措置に伴う様々な制限下でございましたけれども、委員の皆様の御理解、御協力の下、本会議は予定どおり開催することができました。

改定時期を迎えておりました地下水及び湧水の保全・利用に係る計画は、昨年度、御協議、御審議いただいた結果、令和3年3月に策定を完了いたしまして、滞りなく同年4月1日から新たな計画の下、取

組を開始することができてございます。

本会議において、本市の地下水及び湧水への御意見、アドバイスを専門家の先生方からいただけることは、私どもも大変心強く、また光栄に思っております。いただいた御意見をどのように環境行政に生かしていくかは非常に重要なことであると考えております。

今期につきましては、本日の会議で任期満了となりますが、かないますれば、来期以降も引き続き御意見、御指導をいただければ幸いです。

また、今期で御退任される楊会長におかれましては、3期6年にわたり、また、会長職として一方ならぬ御尽力をいただきました。心より感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

本来であれば皆様にお会いしてお礼を申し上げるところですけども、このような形になってしまい、誠に申し訳ございません。心より御礼申し上げますとともに、今後ともどうぞよろしく願いたいします。ありがとうございました。

岩佐係長

ありがとうございました。それでは、最後に、事務局から事務連絡でございます。

来期につきましても、御継続の御連絡をいただいております委員の皆様につきましては、皆様の各所属先の御担当者様に推薦書等のお手続を進めていただいている段階でございます。

こちらの手続が終了いたしましたら、皆様には正式に承諾書の御提出を御依頼させていただく形になりますので、よろしく願います。

次回の日程は、4月以降の開催となりますので、後日、委員の皆様と日程調整の上、改めて事務局より開催日時のお知らせをさせていただきますので、よろしく願います。

以上でございます。

楊会長

事務局の説明が終わりました。ほかに御質問等はございませんでしょうか。

特になければ、以上をもちまして本日の議題は全て終了いたしました。

た。

本日は、これをもって令和3年度第3回小金井市地下水保全会議を閉会いたします。お疲れさまでした。

— 了 —

## 地下水影響工事に係る基準の事前協議（確認事項）について

分類	No.	内容	チェック
構造	1	地下構造（建物）が地下水帯水層（礫層など）に及んでいる（可能性がある）。	<input type="checkbox"/>
	2	基礎杭は礫層又は難透水層（粘土・シルト層など）を貫通する。	<input type="checkbox"/>
工法	1	連続地中壁等の構造を採用している。	<input type="checkbox"/>
	2	地盤改良工法を採用している（薬液注入、混和材等の混合）。	<input type="checkbox"/>
	3	仮設時に山留工を採用している。 （親杭横矢板工法（木製矢板を使用）以外による。）	<input type="checkbox"/>
	4	補助工法を採用している。（山留から漏れいする地下水の強制排除、凍結工法等の地下水流動を遮断する工法）	<input type="checkbox"/>
その他	1	土壌汚染が確認されている。	<input type="checkbox"/>

上表の各項目について、該当がない場合、地下水に影響を及ぼすおそれは低いと考えられる。ボーリングデータがあれば提供を依頼し、地下水の状況把握に努める。

該当がある場合、事務局での判断が困難となる。

# 水質監視測定及び湧水調査

## 報 告 書

令 和 3 年 度 版

小 金 井 市

## 目 次

1.調査概要	
1-1.調査件名 .....	1
1-2.調査目的 .....	1
1-3.調査地点 .....	1
1-4.調査実施日 .....	3
1-5.調査項目 .....	3
2.調査結果	
2-1.井戸水調査 .....	6
2-2.野川調査 .....	15
2-3.湧水調査 .....	17

### 資料編

井戸水調査結果

野川調査結果

湧水調査結果

環境基準

調査状況写真



# 1. 調査概要

## 1-1. 調査件名

水質監視測定及び湧水調査

## 1-2. 調査目的

### (1) 井戸水調査

井戸水の有機塩素化合物による汚染状況を監視測定する。

### (2) 野川調査

野川の自然環境の状況を把握するため監視測定する。

### (3) 湧水調査

湧水の自然環境の状況を把握するため監視測定する。

## 1-3. 調査地点

### (1) 井戸水調査

調査地点は、小金井市内の井戸水13地点である。調査地点を表1-1及び図1-1に示す。

### (2) 野川調査

調査地点は市内下流部に当たる柳橋下の1地点である。調査地点を表1-1及び図1-1に示す。

### (3) 湧水調査

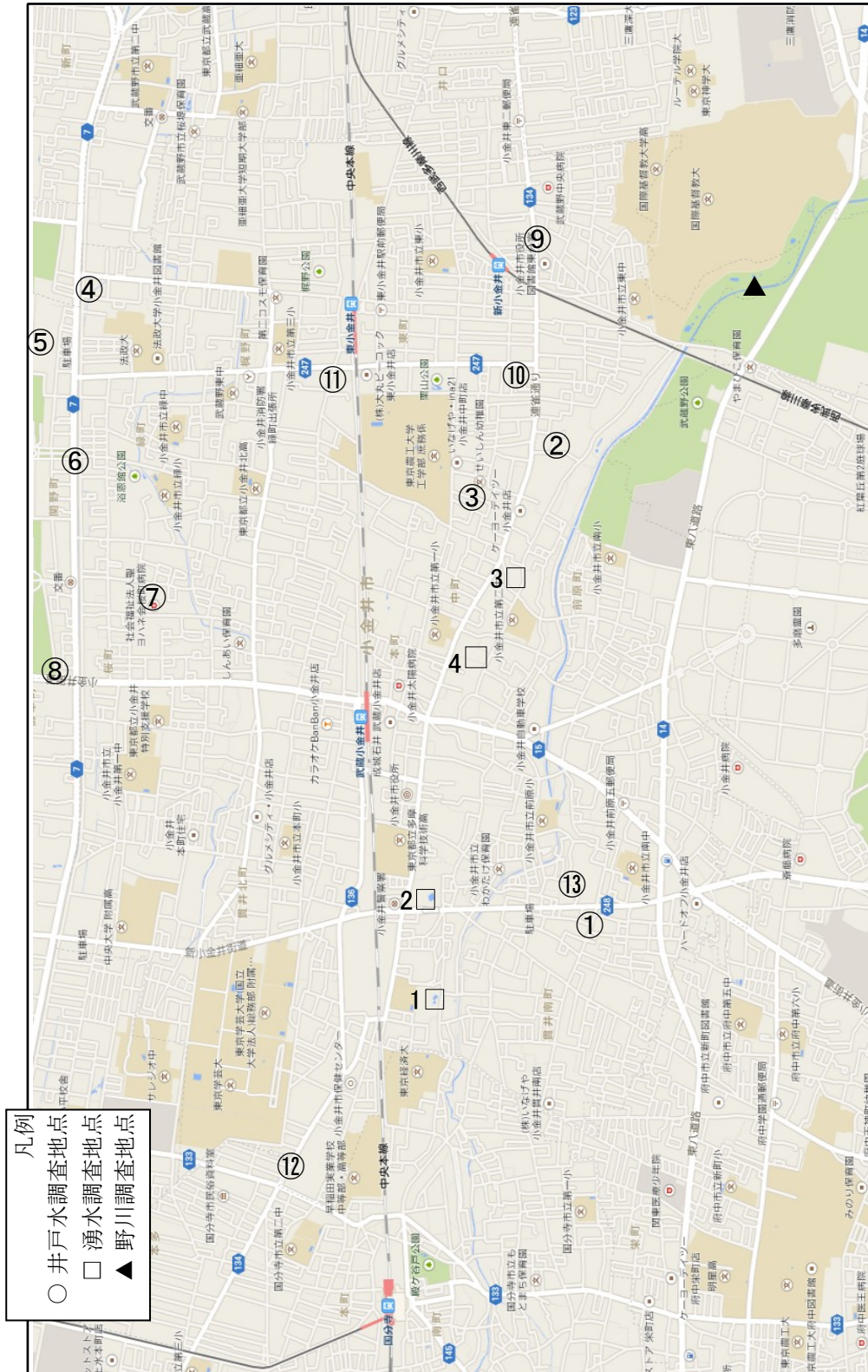
調査地点は市内の湧水4地点である。調査地点を表1-1及び図1-1に示す。

表1-1 調査地点一覧表

調査内容	試料名	試料区分	調査地点
井戸水調査	No.1	井戸水	貫井南町1-24
	No.2	井戸水	中町1-15
	No.3	井戸水	中町2-15
	No.4	井戸水	梶野町3-12
	No.5	井戸水	関野町1-11
	No.6	井戸水	緑町3-13
	No.7	井戸水	桜町1-2
	No.8	井戸水	桜町3-6
	No.9*	井戸水	東町1-41
	No.10*	井戸水	中町2-1
	No.11*	井戸水	緑町1-1
	No.12*	井戸水	貫井北町5-13
	No.13	井戸水	貫井南町2-1
野川調査	柳橋下	河川水	東町1-6
湧水調査 ①水質 ②水生生物調査	貫井神社	湧水	貫井南町3-8
	滄浪泉園	湧水	貫井南町3-2
	美術の森緑地	湧水	中町1-11
	中町四丁目公共緑地	湧水	中町4-16

\*地下水位測定調査場所(詳細は地下水位測定報告書のとおり)

図1-1 調査地点



#### 1-4.調査実施日

調査実施日を表1-2に示す。

表1-2 調査実施日一覧表

調査内容	調査実施日		調査地点数
井戸水調査	第1回目	令和3年7月15日	13
	第2回目	令和3年9月13日	
	第3回目	令和3年11月12日	
	第4回目	令和4年2月25日	
野川調査	第1回目	令和3年6月3日	1
	第2回目	令和3年11月4日	
湧水調査 ①水質 ②水生生物調査	第1回目	令和3年6月21日	4
	第2回目	令和3年12月20日	

#### 1-5.調査項目

##### (1) 井戸水調査

井戸水調査の調査項目及び分析方法、環境基準を表1-3に示す。

表1-3 水質調査項目、分析方法、環境基準

項目	単位	分析方法	定量下限値	環境基準値
トリクロロエチレン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	0.01以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	1以下
水温	℃	JIS K 0102 7.2	-	-
電気伝導率	ms/m	JIS K 0102 13	-	-
硝酸性窒素	mg/L	JIS K 0102 43.2.5	0.01	10以下※
鉛	mg/L	JIS K 0102 54.4	0.001	0.01以下
水位	m	-	-	-

環境基準値：地下水の水質汚濁に係る環境基準について

(平成9年3月13日環境庁告示第10号)

※ 基準値は、亜硝酸性窒素との合量値として。

## (2) 野川調査

野川調査の調査項目及び分析方法、環境基準を表1-4に示す。

表1-4 水質調査項目、分析方法、基準値一覧表

	項目	単位	分析方法	定量下限値	環境基準値
現場測定項目	気温	℃	JIS K 0102 7.1	-	-
	水温	℃	JIS K 0102 7.2	-	-
	外観(色相)	-	JIS K 0102 8	-	-
	臭気	-	JIS K 0102 10.1	-	-
	透視度	度	JIS K 0102 9	-	-
	流量	m <sup>3</sup> /sec	JIS K 0094 8	-	-
生活環境項目	水素イオン濃度(pH)	-	JIS K 0102 12.1	0.1	6.0以上 8.5以下
	溶存酸素量(DO)	mg/L	JIS K 0102 32.1	0.5	2以上
	生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	JIS K 0102 21,32.3	0.5	8以下
	化学的酸素要求量(COD <sub>Mn</sub> )	mg/L	JIS K 0102 17	0.5	-
	浮遊物質(SS)	mg/L	S46環境庁告示第59号 付表9	1	100以下
	大腸菌群数	MPN/100mL	S46環境庁告示第59号 別表2最確数による定量法	1.8	-
	全窒素(T-N)	mg/L	JIS K 0102 45.4	0.05	-
	全りん(T-P)	mg/L	JIS K 0102 46.3.1	0.003	-
健康項目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (NO <sub>3</sub> <sup>-</sup> -N、NO <sub>2</sub> <sup>-</sup> -N)	mg/L	JIS K 0102 43.2,43.2.3 JIS K 0102 43.1	0.01	10以下
その他の項目	陰イオン界面活性剤(MBAS)	mg/L	JIS K 0102 30.1.1	0.02	-
	アンモニア性窒素(NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> -N)	mg/L	JIS K 0102 42.1,42.2	0.01	-
	りん酸性りん(PO <sub>4</sub> <sup>3-</sup> -N)	mg/L	JIS K 0102 46.1.1	0.003	-

環境基準値：水質汚濁に係る環境基準について(昭和46年12月28日環境庁告示第59号)

- 1 人の健康の保護に関する環境基準
- 2 生活環境の保全に関する環境基準

(3) 湧水調査

湧水調査では、水質調査、底生生物と付着調査を行った。

① 水質調査

調査項目及び分析方法、環境基準を表1-5に示す。

表1-5 水質調査項目、分析方法、基準値一覧表

項目	単位	分析方法	定量下限値	環境基準値
気温	℃	JIS K 0102 7.1	-	-
水温	℃	JIS K 0102 7.2	-	-
外観(色相)	-	JIS K 0102 8	-	-
臭気	-	JIS K 0102 10.1	-	-
透視度	度	JIS K 0102 9	-	-
流量	m <sup>3</sup> /sec	JIS K 0094 8	0.001	-
水素イオン濃度(pH)	-	JIS K 0102 12.1	0.1	-
電気伝導率	m <sup>3</sup> /m	JIS K 0102 13	-	-
硝酸性窒素	mg/L	JIS K 0102 43.2.5	0.01	10以下※
トリクロロエチレン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	0.01以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	1以下

環境基準値: 地下水の水質汚濁に係る環境基準について

(平成9年3月13日環境庁告示第10号)

※ 基準値は、亜硝酸性窒素との合量値として。

② 水生生物

調査項目と採取器具を表1-6に示す。

表1-6 水生生物調査項目、調査方法、採取器具一覧表

項目	調査方法	採取器具
底生生物	コドラート(方形枠)法(25cm×25cm)による採取 4箇所(川幅が狭い為、50cm四方は使用せず) ホルマリン固定 肉眼及び実体顕微鏡による同定、計数、湿重量測定	コドラート Dフレームサーバーネット
付着藻類	礫を選定、コドラート法(5cm×5cm)による採取 1箇所 ホルマリン固定 沈殿量測定、生物顕微鏡により固定、計数	コドラート ブラシ、洗瓶

## 2. 調査結果

### 2-1. 井戸水調査

井戸水の調査結果を表2-1に示す。また、検出状況を表2-2に、環境基準の適合状況を表2-3に示す。さらに令和3年度の平均値を表2-4、図2-1及び図2-2に示す。

表2-1 井戸水調査結果一覧表

No.1 貫井南町1-24

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値	
		R3.7.15 9:23	R2.7.22 13:30	R1.7.24 9:25	R3.9.13 9:00	R2.9.29 8:50	R1.9.30 9:32	R3.11.12 9:15	R2.11.26 8:50	R1.11.29 9:00	R4.2.25 9:13	R3.2.2 9:16	R2.2.26 12:00		
現場測定項目	天候	-	曇	曇	曇/晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	曇/晴	雨	-	
	気温	℃	26.0	30.7	27.8	26.0	19.0	25.8	14.0	13.7	4.3	4.9	8.0	7.4	-
	水温	℃	19.0	22.2	18.0	18.2	19.0	18.0	15.8	16.0	15.2	17.0	15.5	14.2	-
	外観(色相)	-	無色透明	中赤褐色	無色透明	無色透明	淡茶褐色	無色透明	中赤褐色	中茶褐色	中茶褐色	淡褐色	中茶色	中赤褐色	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	微土臭	微土臭	無臭	微金属臭	微さび臭	微さび臭	-
	透視度	度	>50.0	23	>50.0	50.0	>37.0	>50.0	50.0	15	>50.0	50.0	20.0	16.5	-
	pH	-	6.3	6.8	6.3	6.7	6.3	6.4	6.8	6.6	6.4	6.1	7.0	6.4	-
	電気伝導率	mS/m	19.5	19.8	19.1	19.0	20.9	18.7	18.5	19.0	17.4	19.6	18.3	15.8	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	3.50	4.86	6.13	4.42	5.64	6.32	1.44	3.47	5.26	5.58	4.30	3.63	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

No.2 中町1-15

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値	
		R3.7.15 14:47	R2.7.22 11:50	R1.7.24 13:35	R3.9.13 14:17	R2.9.29 11:45	R1.9.30 15:11	R3.11.12 13:25	R2.11.26 11:50	R1.11.29 13:10	R4.2.25 13:27	R3.2.2 13:29	R2.2.26 11:00		
現場測定項目	天候	-	曇	曇	曇/晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	曇/晴	雨	-	
	気温	℃	28.1	29.0	29.9	28.3	22.5	26.8	21.5	17.8	9.9	10.3	12.6	7.8	-
	水温	℃	19.5	22.2	20.0	17.9	20.0	19.0	18.5	18.0	15.0	15.2	14.0	14.0	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.6	6.5	6.0	6.6	6.6	6.2	6.3	6.7	6.3	6.4	6.9	6.7	-
	電気伝導率	mS/m	15.8	15.1	28.9	14.1	14.7	14.2	15.0	14.1	13.6	14.8	13.9	12.9	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	4.66	3.48	4.97	4.41	4.09	4.27	4.51	3.69	5.70	5.67	5.49	4.34	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

No.3 中町2-15

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値	
		R3.7.15 15:13	R2.7.22 11:30	R1.7.24 8:55	R3.9.13 14:37	R2.9.29 12:00	R1.9.30 15:34	R3.11.12 13:40	R2.11.26 12:05	R1.11.29 13:25	R4.2.25 13:50	R3.2.2 13:51	R2.2.26 11:15		
現場測定項目	天候	-	曇	曇	曇/晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	曇/晴	雨	-	
	気温	℃	28.8	29.0	27.0	28.6	22.0	27.5	21.5	17.5	10.2	11.8	14.8	7.3	-
	水温	℃	22.8	25.0	24.5	21.5	19.5	19.0	14.5	14.2	10.3	14.0	7.9	10.5	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	淡黄褐色	-
	臭気	-	無臭	無臭	微土臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.8	7.5	6.7	7.7	7.2	7.1	6.7	7.0	7.2	7.1	7.1	7.1	-
	電気伝導率	mS/m	17.0	18.0	19.2	16.9	16.6	16.2	14.8	15.0	13.0	15.7	12.3	12.6	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	0.23	<0.01	0.07	0.19	0.21	0.06	0.06	0.06	0.04	0.26	0.10	0.02	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	0.01以下

表2-1 井戸水調査結果一覧表

## No.4 梶野町3-12

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値	
		R3.7.15 13:10	R2.7.22 10:40	R1.7.24 11:55	R3.9.13 11:40	R2.9.29 11:00	R1.9.30 12:35	R3.11.12 10:05	R2.11.26 10:55	R1.11.29 13:50	R4.2.25 11:53	R3.2.2 11:52	R2.2.26 10:05		
現場測定項目	天候	-	曇	曇	曇/晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	曇/晴	雨	-
	気温	℃	26.3	28.2	29.8	28.2	18.0	27.6	15.2	15.2	8.5	7.3	10.0	6.8	-
	水温	℃	21.8	23.0	21.2	19.4	19.5	20.2	14.5	15.5	12.0	11.3	11.0	13.5	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	7.1	7.3	7.4	7.6	7.4	7.6	6.7	7.5	7.8	7.1	7.5	7.3	-
電気伝導率	mS/m	21.7	21.3	26.0	19.7	21.4	18.7	17.1	20.0	12.6	17.0	16.5	14.5	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	3.21	2.99	1.67	3.07	3.74	1.91	2.96	3.92	0.31	2.62	3.76	1.43	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

## No.5 関野町1-11

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値	
		R3.7.15 11:50	R2.7.22 10:30	R1.7.24 11:19	R3.9.13 10:56	R2.9.29 10:05	R1.9.30 11:53	R3.11.12 11:05	R2.11.26 10:30	R1.11.29 10:30	R4.2.25 11:06	R3.2.2 11:16	R2.2.26 9:55		
現場測定項目	天候	-	曇	曇	曇/晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	曇/晴	雨	-
	気温	℃	24.6	28.2	27.2	27.4	17.5	28.5	17.0	14.5	5.9	8.8	8.1	6.8	-
	水温	℃	18.8	21.5	18.0	17.5	18.5	17.9	15.5	16.5	15.7	16.0	15.0	15.4	-
	外観(色相)	-	無色透明	淡褐色	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	淡赤褐色	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.4	6.8	6.2	6.7	6.4	6.4	6.4	6.2	6.4	6.4	6.6	6.6	-
電気伝導率	mS/m	26.3	19.6	23.4	18.5	19.2	20.2	18.0	17.8	16.9	17.2	16.1	16.9	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	4.50	5.85	5.25	5.03	6.04	6.20	5.52	5.66	5.77	5.01	5.24	5.70	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

## No.6 緑町3-13

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値	
		R3.7.15 12:11	R2.7.22 11:10	R1.7.24 11:34	R3.9.13 11:19	R2.9.29 10:50	R1.9.30 12:12	R3.11.12 11:15	R2.11.26 10:45	R1.11.29 10:40	R4.2.25 11:23	R3.2.2 11:34	R2.2.26 9:00		
現場測定項目	天候	-	曇	曇	曇/晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	曇/晴	雨	-
	気温	℃	26.8	28.5	28.5	27.8	20.0	28.7	19.0	14.6	6.3	9.0	10.0	7.2	-
	水温	℃	21.8	22.2	20.5	18.3	21.0	18.5	18.0	20.0	19.0	20.0	21.4	21.2	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.5	7.1	7.0	7.4	6.9	6.9	6.5	6.9	6.9	6.8	6.7	6.9	-
電気伝導率	mS/m	31.7	31.8	34.7	29.9	30.3	29.7	27.5	30.2	28.4	25.4	29.2	27.8	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	0.0002	0.0002	0.0003	0.0002	0.0002	0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0013	0.0034	0.0024	0.0013	0.0026	0.0037	0.0020	0.0019	0.0039	0.0038	0.0020	0.0042	0.01以下
	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	5.64	6.35	6.48	6.21	6.51	6.38	5.78	6.57	6.27	5.55	6.27	6.28	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

表2-1 井戸水調査結果一覧表

No.7 桜町1-2

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値	
		R3.7.15 11:07	R2.7.22 10:00	R1.7.24 10:44	R3.9.13 10:15	R2.9.29 10:35	R1.9.30 11:10	R3.11.12 10:30	R2.11.26 10:00	R1.11.29 10:00	R4.2.25 10:21	R3.2.2 10:35	R2.2.26 9:25		
現場測定項目	天候	-	曇	曇	曇/晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	曇/晴	雨	-
	気温	℃	25.5	27.3	27.1	25.6	18.0	27.2	17.5	14.0	3.3	7.1	9.8	7.8	-
	水温	℃	17.5	18.0	16.8	16.9	17.5	16.5	15.5	17.5	16.1	16.8	16.4	17.0	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.4	7.1	6.5	7.0	6.7	6.7	6.8	6.9	6.8	6.5	7.0	6.7	-
電気伝導率	mS/m	26.5	24.2	26.7	22.4	23.7	23.5	21.8	22.5	21.1	21.8	21.4	21.8	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	0.0002	0.0002	0.0007	0.0002	0.0002	0.0004	0.0003	0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0003	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0052	0.0030	0.0018	0.0046	0.0050	0.0029	0.0064	0.0056	0.0022	0.0061	0.0054	0.0025	0.01以下
	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	5.78	6.63	6.49	5.96	6.56	6.29	6.12	6.56	6.28	5.97	6.20	6.28	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

No.8 桜町3-6

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値		
		R3.7.15 11:30	R2.7.22 10:15	R1.7.24 11:03	R3.9.13 10:33	R2.9.29 9:50	R1.9.30 11:34	R3.11.12 10:55	R2.11.26 10:15	R1.11.29 10:20	R4.2.25 10:43	R3.2.2 10:55	R2.2.26 9:45			
現場測定項目	天候	-	曇	曇	曇/晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	曇/晴	雨	-	
	気温	℃	24.0	27.3	26.0	24.4	17.0	25.0	17.5	14.3	6.1	8.5	8.2	8.0	-	
	水温	℃	19.0	19.8	18.2	18.3	18.5	18.0	15.8	15.0	15.2	17.0	17.2	16.4	-	
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	淡赤褐色	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-	
	pH	-	6.4	6.4	6.4	6.6	6.3	6.4	6.3	6.8	6.4	6.1	6.7	6.6	-	
電気伝導率	mS/m	25.9	20.0	20.6	19.7	19.5	20.3	18.6	17.0	17.0	20.4	16.7	16.8	-		
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下	
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0026	0.0013	0.0014	0.0024	0.0022	0.0013	0.0029	0.0020	0.0014	0.0026	0.0022	0.0017	0.01以下	
	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下	
	硝酸性窒素	mg/L	4.69	6.07	5.46	5.19	5.54	5.69	5.06	5.30	5.66	4.80	5.17	5.47	10以下	
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下	

No.9 東町1-41

調査項目	調査項目 単位	第1回		R1.7.24	第2回		R1.9.30	第3回			第4回			環境 基準値
		R3.7.15 13:56	R2.7.22 9:20		R3.9.13 13:55	R2.9.29 11:30		R3.11.12 9:35	R2.11.26 11:35	R1.11.29 11:40	R4.2.25 9:55	R3.2.2 13:07	R2.2.26 10:50	
現場測定項目	天候	-	曇	曇	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	曇/晴	雨	-
	気温	℃	26.0	28.2	28.4	21.0	13.5	17.2	7.0	9.0	11.8	7.0	7.0	-
	水温	℃	19.5	23.0	18.3	20.5	15.0	15.2	14.9	14.0	15.2	16.0	16.0	-
	外観(色相)	-	無色透明	淡褐色	無色透明	無色透明	淡褐色	中赤褐色	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	淡黄褐色	-
	臭気	-	無臭	微土臭	無臭	無臭	無臭	微土臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	48.0	>50.0	>50.0	>50.0	22	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.4	6.6	6.6	6.9	6.6	6.7	6.2	6.8	6.8	6.1	6.1	-
電気伝導率	mS/m	18.2	19.1	16.6	14.3	13.0	15.5	15.1	13.6	15.2	16.1	16.1	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0003	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	5.62	4.96	5.79	0.51	4.20	2.74	6.50	4.16	5.42	6.39	6.39	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下



表2-1 井戸水調査結果一覧表

No.10 中町2-1

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値	
		R3.7.15 14:27	R2.7.22 9:35	R1.7.24 13:02	R3.9.13 13:07	R2.9.29 12:25	R1.9.30 14:24	R3.11.12 12:15	R2.11.26 12:20	R1.11.29 12:40	R4.2.25 12:31	R3.2.2 12:42	R2.2.26 12:45		
現場測定項目	天候	-	曇	曇	曇/晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	曇/晴	雨	-	
	気温	℃	28.4	28.2	29.0	28.0	22.0	28.9	21.5	17.5	10.0	11.3	11.2	11.0	-
	水温	℃	18.0	21.0	17.2	17.2	18.5	17.5	16.8	18.0	16.2	17.0	17.0	15.8	-
	水位	m	13.4	12.7	13.4	12.6	13.2	13.2	13.0	13.4	12.1	14.1	14.3	13.5	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	淡黄色	無色透明	無色透明	淡黄色	無色透明	淡褐色	淡赤褐色	無色透明	淡黄褐色	淡黄褐色	-
	臭気	-	無臭	無臭	微土臭	無臭	無臭	微土臭	無臭	微土臭	微土臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	25.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.6	6.8	6.2	6.6	6.5	6.3	6.4	6.4	6.4	6.4	7.1	6.1	-
電気伝導率	mS/m	16.2	16.1	16.7	15.2	22.0	16.1	15.5	16.2	14.0	15.5	15.1	15.8	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0005	0.0002	0.0003	0.0005	0.0002	0.0002	0.0004	0.0002	0.0003	0.0003	0.0003	0.0004	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	4.71	4.42	5.16	4.34	4.17	4.25	4.35	4.59	4.83	4.93	5.49	5.02	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	0.003	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	0.001	<0.001	0.01以下

No.11 緑町1-1

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値	
		R3.7.15 13:35	R2.7.22 11:00	R1.7.24 12:13	R3.9.13 13:31	R2.9.29 11:15	R1.9.30 13:29	R3.11.12 9:50	R2.11.26 11:15	R1.11.29 11:10	R4.2.25 10:20	R3.2.2 12:10	R2.2.26 10:20		
現場測定項目	天候	-	曇	曇	曇/晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	曇/晴	雨	-	
	気温	℃	26.9	29.0	29.5	28.4	20.0	28.5	14.8	18.8	7.2	10.0	11.2	7.6	-
	水温	℃	19.0	23.0	18.4	17.9	19.5	18.0	16.0	16.2	15.0	13.5	15.2	14.8	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.6	6.6	6.4	6.5	6.7	6.6	6.3	6.8	6.1	6.3	7.0	6.6	-
	電気伝導率	mS/m	16.5	16.8	17.4	15.4	17.9	16.5	15.2	16.9	14.3	14.5	15.7	15.1	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	0.0002	0.0002	<0.0002	0.0002	0.0002	<0.0002	0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0009	0.0005	0.0005	0.0008	0.0005	0.0005	0.0007	0.0007	0.0005	0.0006	0.0008	0.0006	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	4.46	5.29	5.35	5.36	5.68	5.67	5.48	5.68	6.68	4.78	5.35	5.62	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

No.12 貫井北町5-13

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値	
		R3.7.15 10:40	R2.7.22 13:10	R1.7.24 10:16	R3.9.13 9:50	R2.9.29 9:25	R1.9.30 10:35	R3.11.12 11:45	R2.11.30 11:10	R1.11.29 14:35	R4.2.25 11:30	R3.2.2 10:09	R2.2.26 11:40		
現場測定項目	天候	-	曇	曇	曇/晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	曇/晴	雨	-	
	気温	℃	27.0	30.5	26.8	27.0	20.0	25.8	18.5	11.5	8.5	8.5	8.0	8.0	-
	水温	℃	18.5	22.8	18.2	17.7	20.0	18.0	15.0	16.2	14.0	15.0	16.2	14.8	-
	水位	m	13.2	11.3	12.2	11.1	11.5	11.6	11.3	12.1	9.9	13.6	13.8	12.7	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	中赤褐色	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.5	6.6	6.4	6.6	6.5	6.4	6.6	6.7	6.5	6.4	6.8	6.7	-
電気伝導率	mS/m	21.4	21.4	20.1	20.0	25.2	19.9	17.8	18.6	17.5	17.0	17.4	16.9	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	0.0002	0.0003	<0.0002	0.0002	0.0002	<0.0002	0.0002	0.0003	<0.0002	<0.0002	0.0004	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0010	0.0008	0.0004	0.0009	0.0008	0.0006	0.0009	0.0009	0.0007	0.0008	0.0009	0.0008	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	5.60	5.29	7.14	5.87	5.68	6.37	2.74	6.11	5.22	5.73	5.21	6.30	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

表2-1 井戸水調査結果一覧表

No.13 貫井南町2-1

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値	
		R3.7.15 9:50	R2.7.22 8:55	R1.7.24 9:49	R3.9.13 9:20	R2.9.30 9:53	R1.9.21 9:35	R3.11.12 8:50	R2.11.26 9:10	R1.11.29 9:20	R4.2.25 9:40	R3.2.2 9:35	R2.2.26 12:25		
現場測定項目	天候	-	曇	曇	曇/晴	晴	晴	雨	晴	晴	晴	晴	曇/晴	雨	-
	気温	℃	26.0	28.0	26.8	26.2	26.0	12.5	16.8	14.0	6.2	7.1	8.8	8.2	-
	水温	℃	19.5	22.0	19.2	18.0	18.6	16.5	16.5	17.5	15.0	15.8	14.2	14.2	-
	水位	m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.6	7.3	7.2	7.3	7.0	7.1	6.8	6.8	7.2	6.9	6.9	6.9	-
電気伝導率	mS/m	34.8	<b>34.4</b>	<b>41.0</b>	31.6	31.4	30.8	22.0	29.9	28.3	29.8	26.9	25.7	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	0.190	<0.01	<0.01	0.30	0.03	0.04	0.04	0.04	0.03	0.21	0.05	<0.01	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

表2-2 検出状況一覧表

試料名	所在地	調査回数	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	硝酸性窒素	鉛
No.1	貫井南町1-24	4	0	0	0	4	0
No.2	中町1-15	4	0	0	0	4	0
No.3	中町2-15	4	0	0	0	4	0
No.4	梶野町3-12	4	0	0	0	4	0
No.5	関野町1-11	4	0	0	0	4	0
No.6	緑町3-13	4	2	4	0	4	0
No.7	桜町1-2	4	2	4	0	4	0
No.8	桜町3-6	4	0	4	0	4	0
No.9	東町1-41	4	0	0	0	4	0
No.10	中町2-1	4	0	4	0	4	0
No.11	緑町1-1	4	0	4	0	4	0
No.12	貫井北町5-13	4	0	4	0	4	0
No.13	貫井南町2-1	4	0	0	0	4	0

表2-3 環境基準超過状況(基準超過検対数)

試料名	所在地	調査回数	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	硝酸性窒素	鉛
No.1	貫井南町1-24	4	0	0	0	0	0
No.2	中町1-15	4	0	0	0	0	0
No.3	中町2-15	4	0	0	0	0	0
No.4	梶野町3-12	4	0	0	0	0	0
No.5	関野町1-11	4	0	0	0	0	0
No.6	緑町3-13	4	0	0	0	0	0
No.7	桜町1-2	4	0	0	0	0	0
No.8	桜町3-6	4	0	0	0	0	0
No.9	東町1-41	4	0	0	0	0	0
No.10	中町2-1	4	0	0	0	0	0
No.11	緑町1-1	4	0	0	0	0	0
No.12	貫井北町5-13	4	0	0	0	0	0
No.13	貫井南町2-1	4	0	0	0	0	0

表2-4 令和3年度平均値

試料名	所在地	調査回数	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	硝酸性窒素	鉛
No.1	貫井南町1-24	4	<0.0002	<0.0002	<0.0002	3.74	<0.001
No.2	中町1-15	4	<0.0002	<0.0002	<0.0002	4.81	<0.001
No.3	中町2-15	4	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.19	<0.001
No.4	梶野町3-12	4	<0.0002	<0.0002	<0.0002	2.97	<0.001
No.5	関野町1-11	4	<0.0002	<0.0002	<0.0002	5.02	<0.001
No.6	緑町3-13	4	<0.0002	0.0021	<0.0002	5.80	<0.001
No.7	桜町1-2	4	0.0003	0.0056	<0.0002	5.96	<0.001
No.8	桜町3-6	4	<0.0002	0.0026	<0.0002	4.94	<0.001
No.9	東町1-41	4	<0.0002	<0.0002	<0.0002	4.94	<0.001
No.10	中町2-1	4	<0.0002	0.0004	<0.0002	4.58	<0.001
No.11	緑町1-1	4	<0.0002	0.0008	<0.0002	5.02	<0.001
No.12	貫井北町5-13	4	<0.0002	0.0009	<0.0002	4.99	<0.001
No.13	貫井南町2-1	4	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.19	<0.001

図2-1 令和3年度平均値

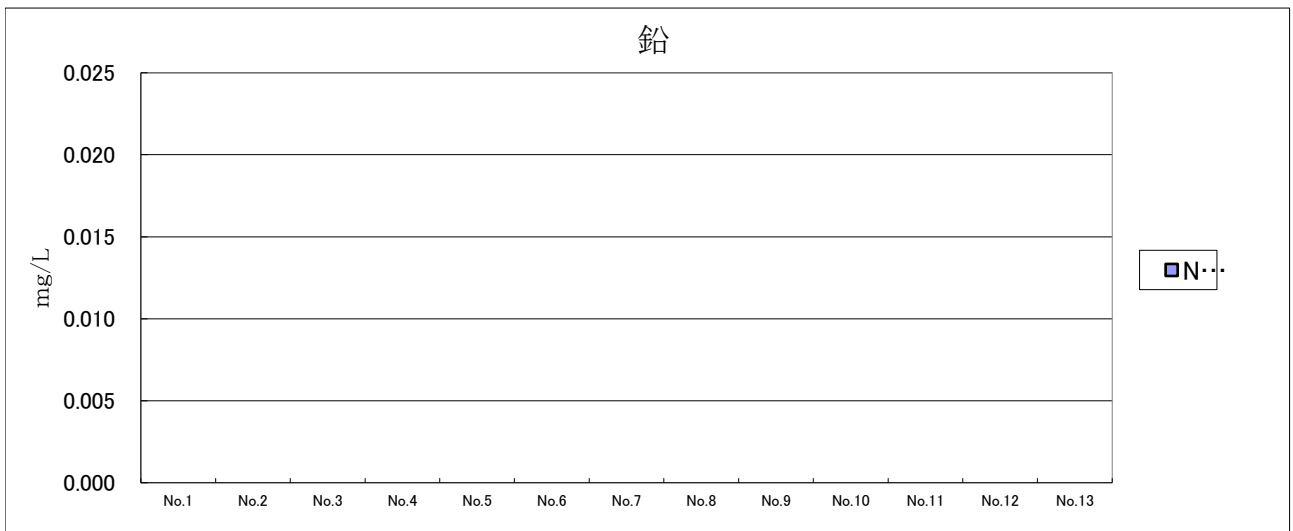
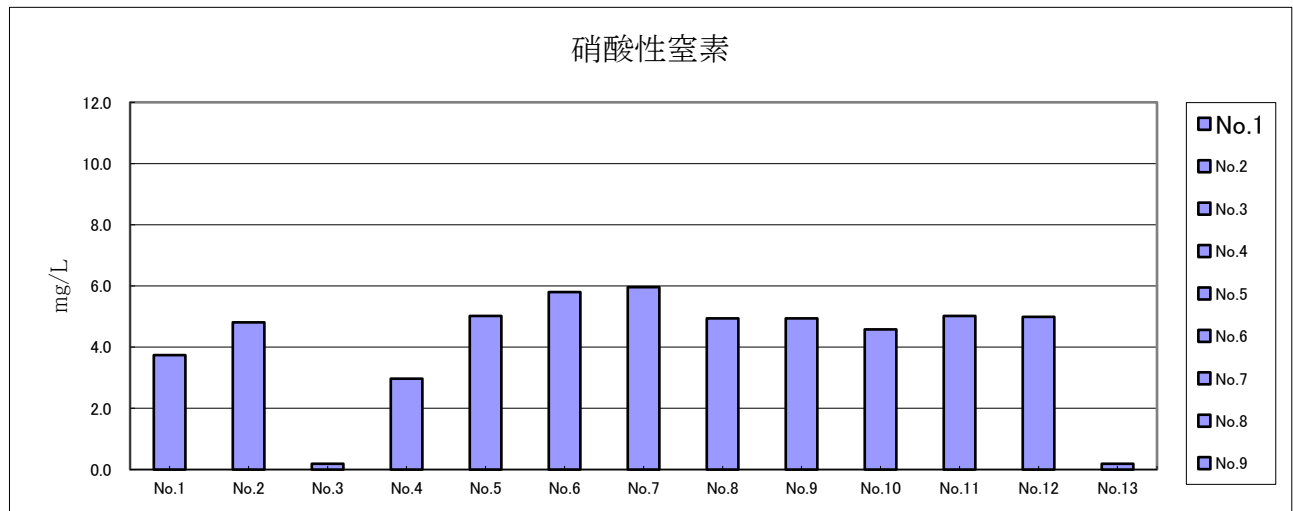
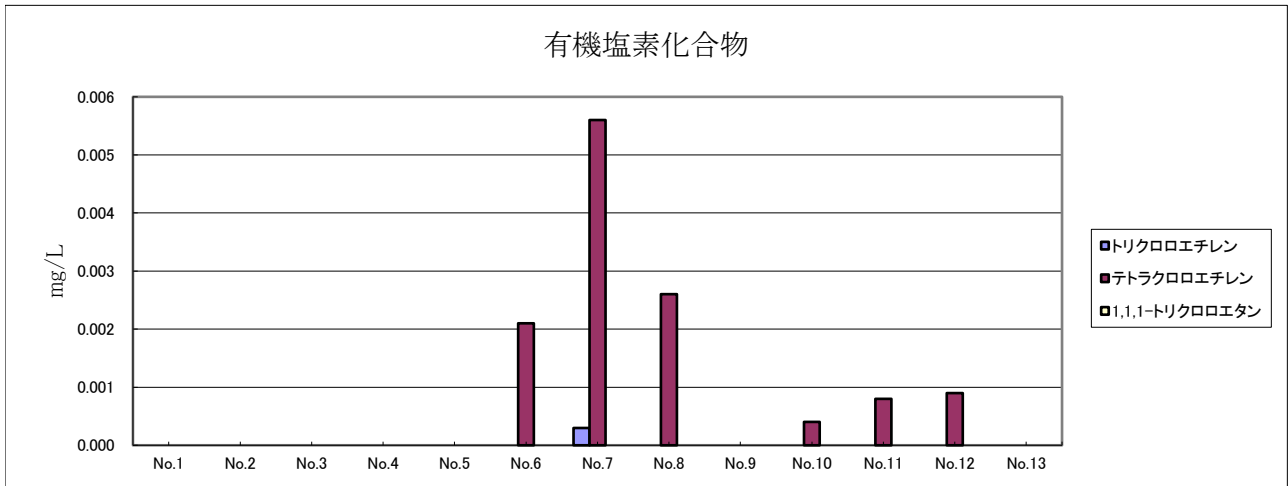
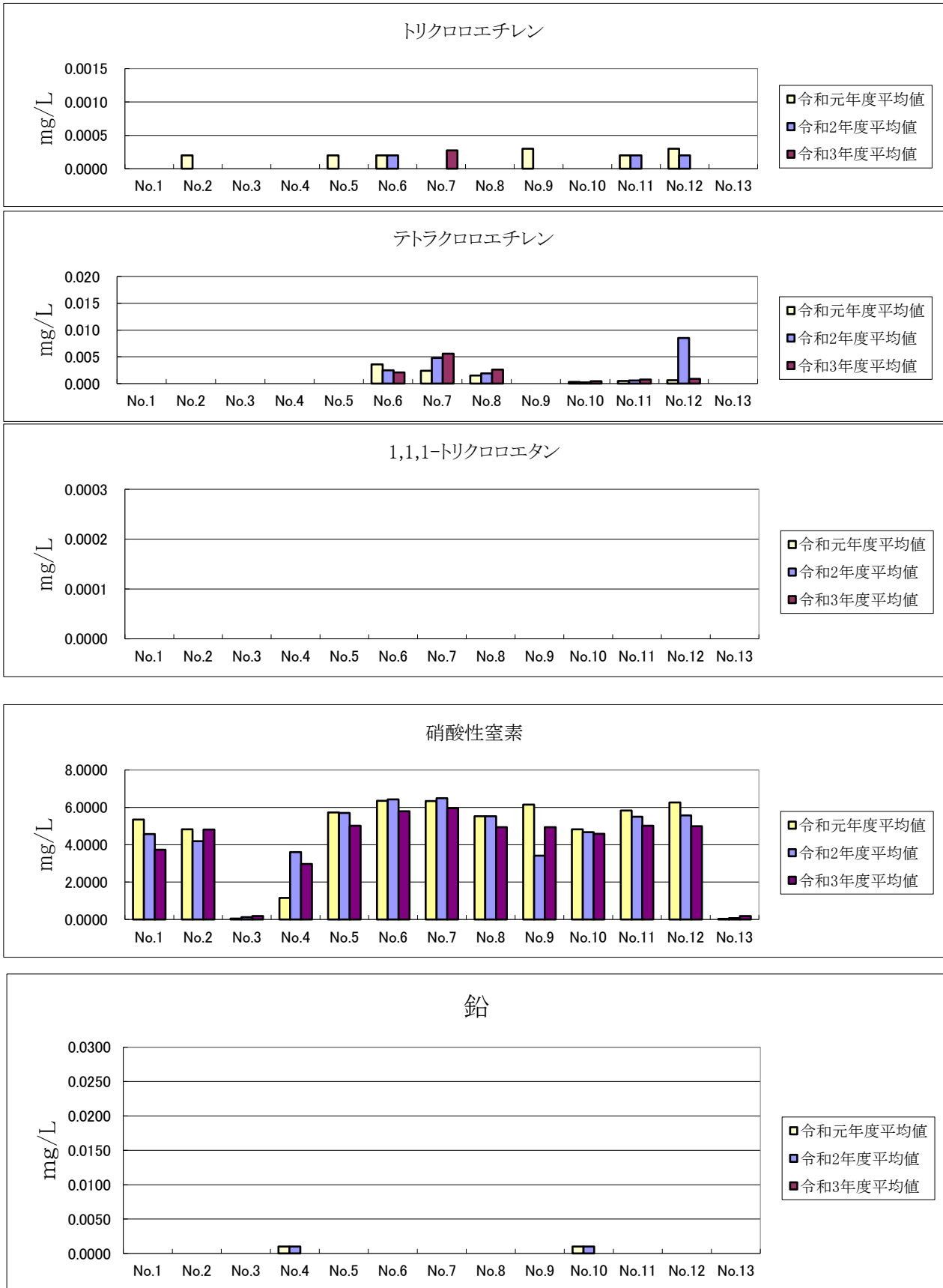


図2-2 過去2年間の調査結果との比較



各分析項目は以下のような結果であった。

(1) トリクロロエチレン

No6, 7で検出されたが全ての地点で環境基準を満足していた。

(2) テトラクロロエチレン

No6, 7, 8, 10, 11, 12で検出されたが全ての場所で環境基準を満足していた。

(3) 1,1,1-トリクロロエタン

環境基準を満足していた。

(4) 硝酸性窒素

全地点で検出されたが環境基準を満足していた。

(5) 鉛

環境基準を満足していた。

(6) 地域の傾向

令和元年度、令和2年度の調査結果と比較すると、一部の例外はあるが、全項目で同様の地点で検出されている。

## 2-2.野川調査

野川の水質調査は、小金井市域最下流部の柳橋下にて6月と11月に実施した。

### (1)生活環境項目

今年度の調査結果は、環境基準(D類型)を全て満足していた。

過去2年間の同時期と比較すると、6月、11月ともに水素イオン濃度(pH)、生物化学的酸素要求量(BOD)大腸菌群数が、低い値であった。

環境基準及び過去2年間の調査結果との比較を表2-5に示す。

表2-5 環境基準及び過去2年間の調査結果との比較(生活環境項目)

項目	単位	環境基準値	定量下限値	調査年月日						
				第1回			第2回			
				R3.6.3	R2.6.11	R1.6.6	R3.11.4	R2.11.5	R1.11.7	
生活環境項目	水素イオン濃度(pH)	-	6.0以上 8.5以下	-	6.8	7.8	7.9	7.0	8.1	7.5
	溶存酸素(DO)	mg/L	2以上	0.5	9.4	8.4	8.6	9.9	10.4	9.1
	生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	8以下	0.5	<0.5	0.9	0.5	<0.5	0.5	0.5
	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	-	0.5	0.9	1.7	2.8	3.2	2.3	2.1
	浮遊物質量(SS)	mg/L	100以下	1	2	6	6	5	4	8
	大腸菌群数	MPN/100mL	-	1.8	4900	7900	7000	2800	4900	14000
	全窒素(T-N)	mg/L	-	0.05	3.97	6.27	4.04	6.53	5.46	6.84
	全りん(T-P)	mg/L	-	0.003	0.035	0.043	0.014	0.012	0.020	0.035

### (2)健康項目

今年度の調査結果は、環境基準を満足していた。環境基準及び過去2年間の調査結果との比較を表2-6に示す。

表2-6 環境基準及び過去2年間の調査結果との比較(健康項目)

項目	単位	環境基準値	定量下限値	調査年月日						
				第1回			第2回			
				R3.6.3	R2.6.11	R1.6.6	R3.11.4	R2.11.5	R1.11.7	
健康項目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	10以下	0.01	3.1	5.6	3.4	5.9	4.9	6.2

(3)その他の項目及び現場測定項目

過去2年間の調査結果と今年度の調査結果を見ると、6月調査ではアンモニア性窒素が、0.03～0.07mg/L、11月調査では0.01～0.04mg/L、6月調査ではりん酸性りんが、0.009～0.027mg/L、11月調査では0.004～0.009mg/Lと11月調査の方が低い数値となった。陰イオン界面活性剤は6月、11月ともに不検出であった。

過去の調査結果との比較を表2-7に示す。

表2-7 過去2年間の調査結果との比較(そのほかの項目及び現場測定項目)

項目	単位	環境基準値	定量下限値	調査年月日						
				第1回			第2回			
				R3.6.3	R2.6.11	R1.6.6	R3.11.4	R2.11.5	R1.11.7	
その他の項目	陰イオン界面活剤(MBAS)	-	-	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	アンモニア性窒素(NH <sub>4</sub> -N)	mg/L	-	0.01	0.07	0.07	0.03	0.01	0.04	0.02
	りん酸性りん(PO <sub>4</sub> -P)	mg/L	-	0.003	0.022	0.027	0.009	0.008	0.009	0.004
現場測定項目	天候	-	-	-	晴	曇	晴	晴	晴	晴
	気温	℃	-	-	22.8	27.0	27.5	15.8	11.0	19.0
	水温	℃	-	-	21.5	21.5	22.5	14.8	14.0	16.0
	外観(色相)	-	-	-	淡:黄緑色	淡灰緑色	淡灰茶色	淡:灰黄色	無色透明	淡灰色
	臭気	-	-	-	微:川藻臭	微川藻臭	無臭	微:川藻臭	微:川藻臭	微川藻臭
	透視度	度	-	-	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0
	流量	m <sup>3</sup> /sec	-	-	0.006	0.114	0.0005	0.258	0.190	0.637
	全水深	m	-	-	0.07	0.17	0.03	0.15	0.18	0.28



## 2-3.湧水調査

### (1) 水質調査

水質調査の結果を表2-8に示す。

#### 1) 透視度

6月、12月の調査共にどの地点でも水質は外観上で濁りなどは見られず透視度も50度以上であった。

#### 2) 水温

水温については、貫井神社で18.0℃(6月)、16.5℃(12月)、滄浪泉園で17.5℃(6月)、16.2℃(12月)、美術の森緑地で18.0℃(6月)、16.2℃(12月)、中町四丁目公共緑地で18.0℃(6月)、17.0℃(12月)であった。年間変動は小さく、各調査地点ともほぼ同じ水温と言える。

#### 3) 臭気

臭気については、6月の中町四丁目公共緑地は微土臭であったが他の地点は無臭であり、異常な臭いは感じなかった。

#### 4) 流量

流量については、貫井神社で60L/min(6月)、300L/min(12月)、滄浪泉園で60L/min未満(6月)、120L/min(12月)、美術の森緑地で60L/min未満(6月)、60L/min(12月)、中町四丁目公共緑地で60L/min未満(6月)、60L/min(12月)であった。

#### 5) pH

pHについては、いずれの地点でも6.0～6.7でやや酸性である。

#### 6) 電気伝導率

電気伝導率については、貫井神社で19.0mS/m(6月)、16.7mS/m(12月)、滄浪泉園で19.8mS/m(6月)、19.5mS/m(12月)、美術の森緑地で18.8mS/m(6月)、14.9mS/m(12月)、中町四丁目公共緑地で20.5mS/m(6月)、19.0mS/m(12月)であった。

#### 7) 硝酸性窒素

硝酸性窒素については、貫井神社で5.00mg/L(6月)、5.90mg/L(12月)、滄浪泉園で5.40mg/L(6月)、6.00mg/L(12月)、美術の森緑地で7.30mg/L(6月)、6.00mg/L(12月)、中町四丁目公共緑地で7.50mg/L(6月)、4.90mg/L(12月)であった。全調査地点で環境基準を満足しているが、やや高めの傾向であった。

#### 8) トリクロロエチレン

トリクロロエチレンについては、全地点で6月、12月ともに不検出(0.0002mg/L未満)であった。

#### 9) テトラクロロエチレン

テトラクロロエチレンについては、全地点で6月、12月ともに不検出(0.0002mg/L未満)であった。

#### 10) 1, 1, 1-トリクロロエタン

1, 1, 1-トリクロロエタンは、全調査地点で6月、12月ともに不検出(0.0002mg/L未満)であった。

表2-8 湧水水質調査結果一覧表

調査地点 貫井神社

調査項目	単位	第1回目			第2回目			環境基準値
		令和3年6月21日	令和2年6月22日	令和元年6月21日	令和3年12月20日	令和2年12月22日	令和元年12月19日	
採取日	-	令和3年6月21日	令和2年6月22日	令和元年6月21日	令和3年12月20日	令和2年12月22日	令和元年12月19日	-
採取時刻	-	8:35	9:10	10:10	13:20	9:05	10:50	-
天候	-	晴	雨	曇	晴	晴	曇	-
気温	℃	23.5	19.8	22.6	8.5	4.5	10.0	-
水温	℃	18.0	17.4	18.0	16.5	16.0	16.5	-
外観	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
流量	m <sup>3</sup> /sec	0.001	0.007	0.003	0.005	0.006	0.008	-
pH	-	6.4	6.4	6.2	6.0	6.2	6.1	-
電気伝導率	ms/m	19.0	19.6	15.1	16.7	20.3	16.1	-
硝酸性窒素	mg/L	5.00	5.05	5.27	5.90	6.10	6.02	10以下
トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下

調査地点 美術の森緑地

調査項目	単位	第1回目			第2回目			環境基準値
		令和3年6月21日	令和2年6月22日	令和元年6月21日	令和3年12月20日	令和2年12月22日	令和元年12月19日	
採取日	-	令和3年6月21日	令和2年6月22日	令和元年6月21日	令和3年12月20日	令和2年12月22日	令和元年12月19日	-
採取時刻	-	10:50	9:55	11:55	12:00	10:40	14:20	-
天候	-	晴	雨	曇	晴	晴	曇	-
気温	℃	23.8	20.0	24.4	8.0	8.8	9.5	-
水温	℃	18.0	17.5	18.0	16.2	16.0	17.0	-
外観	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
臭気	-	無臭	微土臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
流量	m <sup>3</sup> /sec	<0.001	0.002	0.002	0.001	<0.001	0.003	-
pH	-	6.5	6.6	6.3	6.0	6.6	6.3	-
電気伝導率	ms/m	18.8	18.2	17.1	14.9	15.8	14.4	-
硝酸性窒素	mg/L	7.30	6.60	7.70	6.00	7.30	6.65	10以下
トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下

調査地点 滄浪泉園

調査項目	単位	第1回目			第2回目			環境基準値
		令和3年6月21日	令和2年6月22日	令和元年6月21日	令和3年12月20日	令和2年12月22日	令和元年12月19日	
採取日	-	令和3年6月21日	令和2年6月22日	令和元年6月21日	令和3年12月20日	令和2年12月22日	令和元年12月19日	-
採取時刻	-	11:45	11:35	9:15	9:05	11:45	9:15	-
天候	-	晴	雨	曇	晴	晴	曇	-
気温	℃	23.2	19.5	23.0	4.2	9.0	10.5	-
水温	℃	17.5	17.5	17.5	16.2	16.2	17.2	-
外観	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
流量	m <sup>3</sup> /sec	<0.001	0.002	<0.001	0.002	<0.001	0.006	-
pH	-	6.7	6.5	6.3	6.1	6.3	6.3	-
電気伝導率	ms/m	19.8	19.5	18.9	19.5	17.6	15.7	-
硝酸性窒素	mg/L	5.40	5.82	5.74	6.00	6.30	5.72	10以下
トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下

調査地点 中町四丁目公共緑地

調査項目	単位	第1回目			第2回目			環境基準値
		令和3年6月21日	令和2年6月22日	令和元年6月21日	令和3年12月20日	令和2年12月22日	令和元年12月19日	
採取日	-	令和3年6月21日	令和2年6月22日	令和元年6月21日	令和3年12月20日	令和2年12月22日	令和元年12月19日	-
採取時刻	-	10:05	10:40	11:05	10:50	10:40	12:45	-
天候	-	晴	雨	曇	晴	晴	曇	-
気温	℃	25.5	19.2	24.8	7.8	7.5	10.0	-
水温	℃	18.0	17.8	18.2	17.0	16.8	17.0	-
外観	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
臭気	-	微土臭	微土臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
流量	m <sup>3</sup> /sec	<0.001	0.002	0.002	0.001	<0.001	0.007	-
pH	-	6.5	6.6	6.3	6.1	6.4	6.1	-
電気伝導率	ms/m	20.5	20.1	20.2	19.0	18.9	17.4	-
硝酸性窒素	mg/L	7.50	7.62	7.34	4.90	7.80	7.72	10以下
トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下

環境基準値:地下水の水質汚濁に係る環境基準について(平成9年3月13日環境省告示第10号)



1) 確認状況

2回の調査により、貫井神社で24種類、滄浪泉園で19種類、美術の森緑地で25種類、中町四丁目公共緑地で27種類と合計47種類の底生生物が確認された。目別の確認種類数を表2-10に示す。

表2-10 底生生物目別確認種類数

網名	目名	貫井神社	滄浪泉園	美術の森緑地	中町四丁目公共緑地	小計
ヒドロ虫綱	ハナクラゲ目	0	0	0	1	1
有棒状体綱	三岐腸目	1	1	1	1	1
有針綱	ハリヒモムシ目	1	0	0	0	1
	(線形動物門)	1	0	0	0	1
腹足綱	新生腹足目	1	0	1	1	1
	汎有肺目	0	1	0	0	1
二枚貝綱	マルスダレガイ目	1	0	1	1	1
ミズ綱	オヨギミズ目	1	1	1	1	1
	イトミズ目	2	2	2	3	3
ヒル綱	吻無蛭目	2	1	0	1	3
クモ綱(蛛形綱)	ダニ目	0	0	0	0	0
軟甲綱	ヨコエビ目	1	0	0	0	1
	ワラジムシ目	1	1	1	1	1
	エビ目	0	0	1	1	1
昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	0	0	0	0	0
	トンボ目(蜻蛉目)	0	0	1	1	1
	カワゲラ目(セキ翅目)	0	0	1	0	1
	ヘビトンボ目	0	0	0	0	1
	トビケラ目(毛翅目)	5	1	1	1	5
	ハエ目(双翅目)	7	11	13	14	21
	チョウ目(鱗翅目)	0	0	1	0	1
合計		24	19	25	27	47

個体数及び湿重量について、2回の調査の平均値を比較すると、中町四丁目公共緑地の個体数が613個体/0.25㎡と最も多く美術の森緑地445個体/0.25㎡、貫井神社340個体/0.25㎡、滄浪泉園124個体/0.25㎡の順であった。

目別個体数のグラフを図2-3に、目別湿重量のグラフを図2-4に示す。

湿重量では貫井神社が2.468g/0.25㎡と最も多く、美術の森緑地が0.576g/0.25㎡、滄浪泉園0.323g/0.25㎡、中町四丁目公共緑地1.125g/0.25㎡であった。

優占種を見ると貫井神社では、ミズムシ(甲)、滄浪泉園では、三岐腸目、美術の森緑地では、ミズムシ(甲)、中町四丁目公共緑地では、マメシジミ属、がそれぞれ優占していた。

地点別の優占種を表2-11に示す。

図2-3 底生生物の分類群別個体数  
※6月と12月の平均値

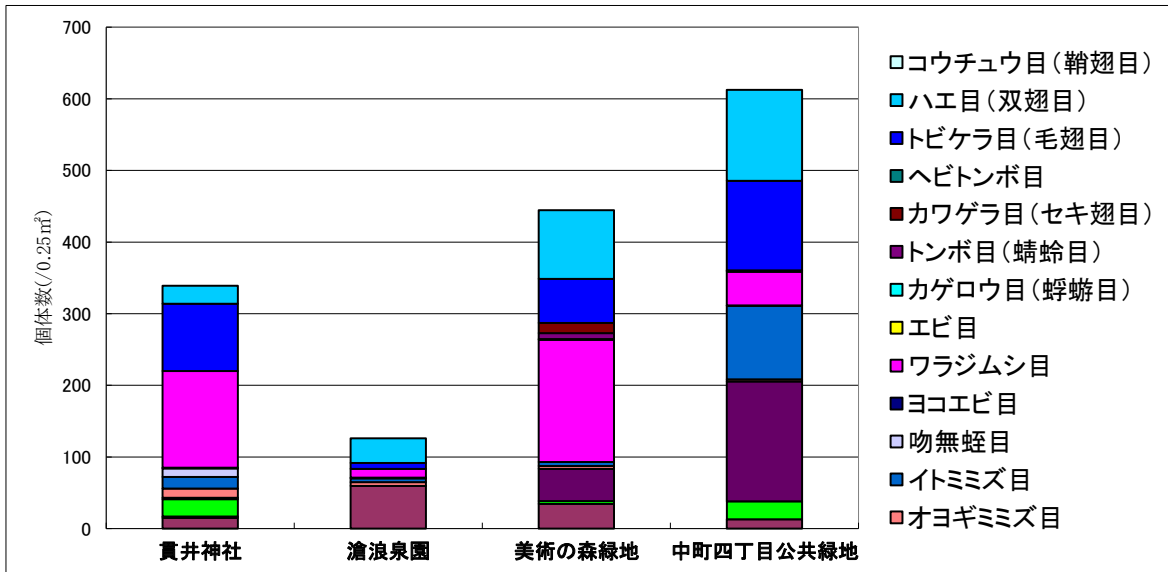
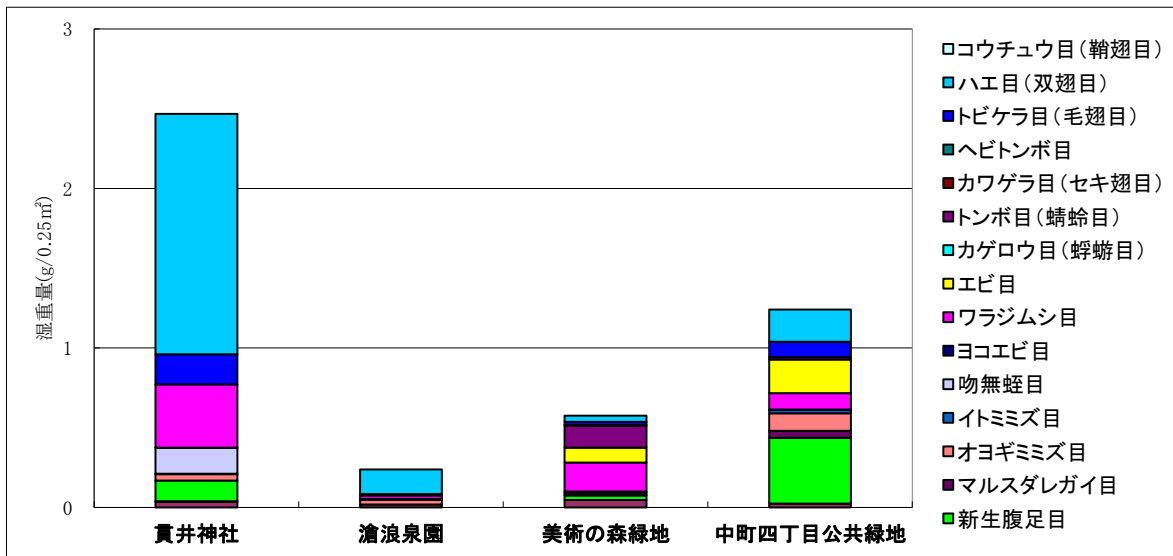


図2-4 底生生物の分類群別湿重量  
※6月と12月の平均値



湧水環境では水質にかかわらずきれいな水の指標種から汚い水の指標種まで出現することが多く、一般河川の水質判定の手法をそのまま流用することは出来ない。本調査においても、各地点でミズムシ(甲)やユスリカ科、ミズ綱といった汚い水の指標種が確認されている。その一方で、サワガニ、ニンギョウトビケラといったきれいな水の指標種も確認されていることから、比較的良好な水質が保たれているものと考えられる。

表2-11 底生生物の地点別優占種

	貫井神社	滄浪泉園	美術の森緑地	中町四丁目公共緑地
優占1位	ミズムシ(甲)	三岐腸目	ミズムシ(甲)	マメシジミ属
	68	60	171	168
優占2位	ニンギョウトビケラ属	ミズムシ(甲)	カクツツビケラ属	カクツツビケラ属
	23	13	62	125
優占3位	カクツツビケラ属	カクツツビケラ属、エリユスリカ亜科	マメシジミ属	エリユスリカ亜科
	20	10	45	71

※上段は種類、下段は2季の平均個体数を示す。(貫井神社は6月1回の調査)

以下に各地点の状況を述べる。

**【貫井神社】**

貫井神社では6月は24種類が確認された。個体数が多かった種類はミズムシ(甲)、ニンギョウトビケラ属、カクツツビケラ属の順であった。分類群別には、6月にトビケラ属の種類数が多い傾向が認められた。

**【滄浪泉園】**

滄浪泉園では6月に17種類、12月は4種類、合計19種類が確認された。個体数が多かった種類は三岐腸目、ミズムシ(甲)、カクツツビケラ属及びエリユスリカ属の順であった。分類群別には、6月にユスリカ科の種類数が多い傾向が認められたが、12月にはユスリカ科は確認できなかった。

**【美術の森緑地】**

美術の森緑地では6月に22種類、12月は8種類、合計25種類が確認された。個体数が多かった種類はミズムシ(甲)、カクツツビケラ属、マメシジミ属の順であった。分類群別には、6月にユスリカ科の種類数が多い傾向が認められた。

**【中町四丁目公共緑地】**

中町四丁目公共緑地では6月に20種類、12月は22種類、合計26種類が確認された。個体数が多かった種類はマメシジミ属、カクツツビケラ属、エリユスリカ科の順であった。分類群別には、6月にユスリカ科の種類数が多い傾向が認められた。

2) 注目種・外来種

注目種として、サワガニが東京都レッドリストにおける留意種に該当した。サワガニは12月の中町4丁目公共緑地と美術の森緑地で確認された。

「外来生物法」による指定種は確認されなかった。

注目種の選定基準を表2-12に、外来種の選定基準を表2-13に示す。

表2-12 注目種の選定基準

選定基準	
①	「鳥類、は虫類、両生類及びその他の無脊椎動物のレッドリストの見直しについて」(環境省. 2006) 「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類植物 I 及び植物 II のレッドリストの見直しについて」(環境省. 2007)における 絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 II 類(VU)、 準絶滅危惧(NT)、情報不足(DD)
②	「東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)東京レッドリスト 2010年版」(東京都環境局. 2010)の北多摩地域における 絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 II 類(VU)、 準絶滅危惧(NT)、情報不足(DD)

表2-13 外来種の選定基準

選定基準	
①	「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(2004. 法律78)における特定外来生物、未判定外来生物、種類名証明の添付が必要な生物及び要注意外来生物

表2-14 注目種一覧

No.	科	種	選定基準	
			①	②
1	サワガニ科	サワガニ	-	留意種
2	マメシジミ科	マメシジミ属	-	DD
合計 2科 2種			0	2

(3) 附着藻類  
 附着藻類調査結果一覧表を表2-15に示す。

表2-15 湧水附着藻類調査結果一覧表

調査日:2021年 6月22日、12月20日  
 調査方法:定量採集(5cm×5cm×4回採集)

No.	綱名	目名	科名	種名		耐忍性	水質階級	汚濁階級	調査地点								重要種		外来種			
				和名	学名				貫井神社		滄浪泉園		美術の森緑地		中町4丁目公共緑地		環境省RL	東京都RL (本土部)				
									6月	12月	6月	12月	6月	12月	6月	12月						
1	紅藻綱	アクロカエチウム目	オオジュイネラ科	ペニトモ	<i>Audouinella</i> sp.	A	1	β m-os	30,753			47,448	10,296		36,482	672						
2		カクレイト目	ペニマダラ科	タンスイペニマダラ	<i>Hildenbrandia rivularis</i>	A	1	os					144				NT	NT				
3	珪藻綱	中心目	ユーノチア科	クシケイソウ	<i>Eunotia minor</i>	A	1	os	469	実 施 な し		4	432	24	114	116						
4				クシケイソウ	<i>Eunotia praerupta</i>	A	1	os	201			12										
5				ナヒクワ科	ニセクチビルケイソウ	<i>Amphora pediculus</i>	B	2	β m		67		12									
6					ニセクチビルケイソウ	<i>Amphora copulata</i>	B	2	β m		67											
7					ニセクチビルケイソウ	<i>Amphora normanii</i>	A	1	os								38					
8				フネケイソウ	フネケイソウ	<i>Navicula bryophila</i>	A	1	os								48					
9					フネケイソウ	<i>Navicula symmetrica</i>	B	2	β m								96					
10					フネケイソウ	<i>Navicula</i> sp.	B	—	—		67											
11					アクナンテス科	マガリケイソウ	<i>Achnanthes inflata</i>	A	1		β m-os									58		
12				マガリケイソウ		<i>Achnanthes rupestoides</i>	A	1	os						36	144				95		
13				ツマカレケイソウ		<i>Achnanthidium japonicum</i>	A	1	β m-os						140							
14				ツマカレケイソウ		<i>Achnanthidium minutissimum</i>	B	2	β m						8							
15				ツマカレケイソウ		<i>Achnanthidium subhudsonis</i>	B	—	—						8	576	24	38				
16				コバンケイソウ		<i>Cocconeis placentula</i>	A	1	β m-os		335					72	24		580			
17				ツブスジツマカレケイソウ		<i>Karayevia laterostrata</i>	A	1	os							648	48				19	
18				フトスジツマカレケイソウ	<i>Planothidium lanceolatum</i>	A	1	β m-os	67						16	144						
19					ニッチア科	ハナラヒケイソウ	<i>Denticula</i> sp.	B	—		—							19				
20	サヤミドロ目	サヤミドロ科	サヤミドロ	<i>Oedogonium</i> sp.	B	—	—									216						
出現種類数									8	—	8	8	8	4	4	3						
出現細胞数合計 (cells/cm <sup>3</sup> )									32,026	—	236	49,680	10,704	209	37,236	786						
沈澱量 (ml/100cm <sup>3</sup> )									1.0	—	0.4	2.0	1.6	2.1	0.8	2.1						

1)種名は水辺の国勢調査動植物プランクトン種名リストH27年度(2015年1月7日更新)に準拠

2)重要種欄の略称及び表中の記号は以下を示す。

環境省RL:「環境省版レッドリスト(日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト(苔菌類、藻類、地衣類、菌類)(2020、環境省)」

EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧I A類、EN:絶滅危惧I B類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群

東京都RL:「東京都の保護上重要な野生生物種(本土部) 東京都レッドリスト(本土部)2020年版(2021、東京都)」

EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧I A類、EN:絶滅危惧I B類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、留意:留意種

3)＜参考文献＞:水質階級、耐忍性を含む

日本の水をきれいにする会 発行(1980)「水生生物相調査解析結果報告書」

Van Dam, H.(1994)の水質階級(汚濁階級指数と耐忍性は水質階級を基に決定)、東京都環境保全局水質保全部(1998)の汚濁階級指数(水質階級と耐忍性は汚濁階級指数を基に決定)

横浜市環境保全局(2005)の水質階級((汚濁階級指数と耐忍性は水質階級を基に決定)

変種(基本種)の指標性がないものは基本種(変種)と同じ指標性とした。

Van Dam, H., Mertens, A. & Sinkeldam, J. (1994) A coded checklist and ecological indicator values of freshwater diatoms from The Netherlands, Netherlands Journal of Aquatic Ecology, 28, 117-133

東京都環境保全局水質保全部 発行(1998)「東京の川の生きものと環境—河川水生生物総合解析調査報告書(その2)」

横浜市環境保全局(2005) 発行「河川生物指標改訂に関する報告書」



1) 確認状況

2回の調査により、貫井神社で8種類、滄浪泉園で12種類、美術の森緑地で10種類、中町四丁目公共緑地で6種類合計20種類が確認された。

各地点別の確認種類数を表2-16に示す。

表2-16 付着藻類の調査地点別確認種類数

網名	貫井神社	滄浪泉園	美術の森緑地	中町四丁目公共緑地	合計
藍藻網	0	0	0	0	0
紅藻網	1	1	2	1	2
珪藻網	7	11	8	5	18
緑藻網	0	0	0	0	0
合計	8	12	10	6	20

各地点の細胞数を2回の調査の平均値と比較すると、滄浪泉園では250万/100cm<sup>2</sup>、中町四丁目公共緑地では190万/100cm<sup>2</sup>、美術の森緑地では55万/100cm<sup>2</sup>であった。

6月

滄浪泉園:生育している藻類が他の地点に比べて明瞭に少なく、調査前には湧水の減少により藻類が生育する石の上が乾燥し、藻類が死滅した可能性がある。

滄浪泉園では過年度の初夏の調査で、タンスイベニマダラが優占種になったことがあるが、本年の様に確認されないこともあり、湧水量の変化が本種の生育に影響を及ぼしていることが認められる。

貫井神社、中町四丁目公共緑地、美術の森緑地:日陰の湧水の流れに多い*Audouinella sp.* が優占し、湧水の流れる日陰の環境であることを示している。  
美術の森緑地ではタンスイベニマダラが過年度にも優占種になることがあったが、湧水が減少した昨年度に確認されなくなり、湧水量の変化が本種の育成に影響を及ぼしていることが認められる。

12月

滄浪泉園:日陰の湧水の流れに多い*Audouinella sp.* が優占し、湧水の流れる日陰の環境であることを示している。  
滄浪泉園では6月調査時と12月調査時で、タンスイベニマダラが確認されず、湧水量の変化が本種の生育に影響を及ぼしていることが認められる。

中町四丁目公共緑地、美術の森緑地:両地点では湧水量が少ないためか水路に泥が蓄積しており藻類の生育量が少ない。昨年12月には藻類が多く生育していたが、その前年には本年と同じ様に藻類の生育量は少なく、藻類の生育には不安定な環境であることが認められる。

各地点別の分類群別細胞数を図2-5に示す。

優占種を見ると、貫井神社、滄浪泉園、及び中町四丁目公共緑地、美術の森緑地と全ての調査箇所においてベニイトモ属が優占していた。

地点別の優占種を表2-17に示す。

図2-5 付着藻類の分別細胞数  
 ※ 6月と12月の平均値

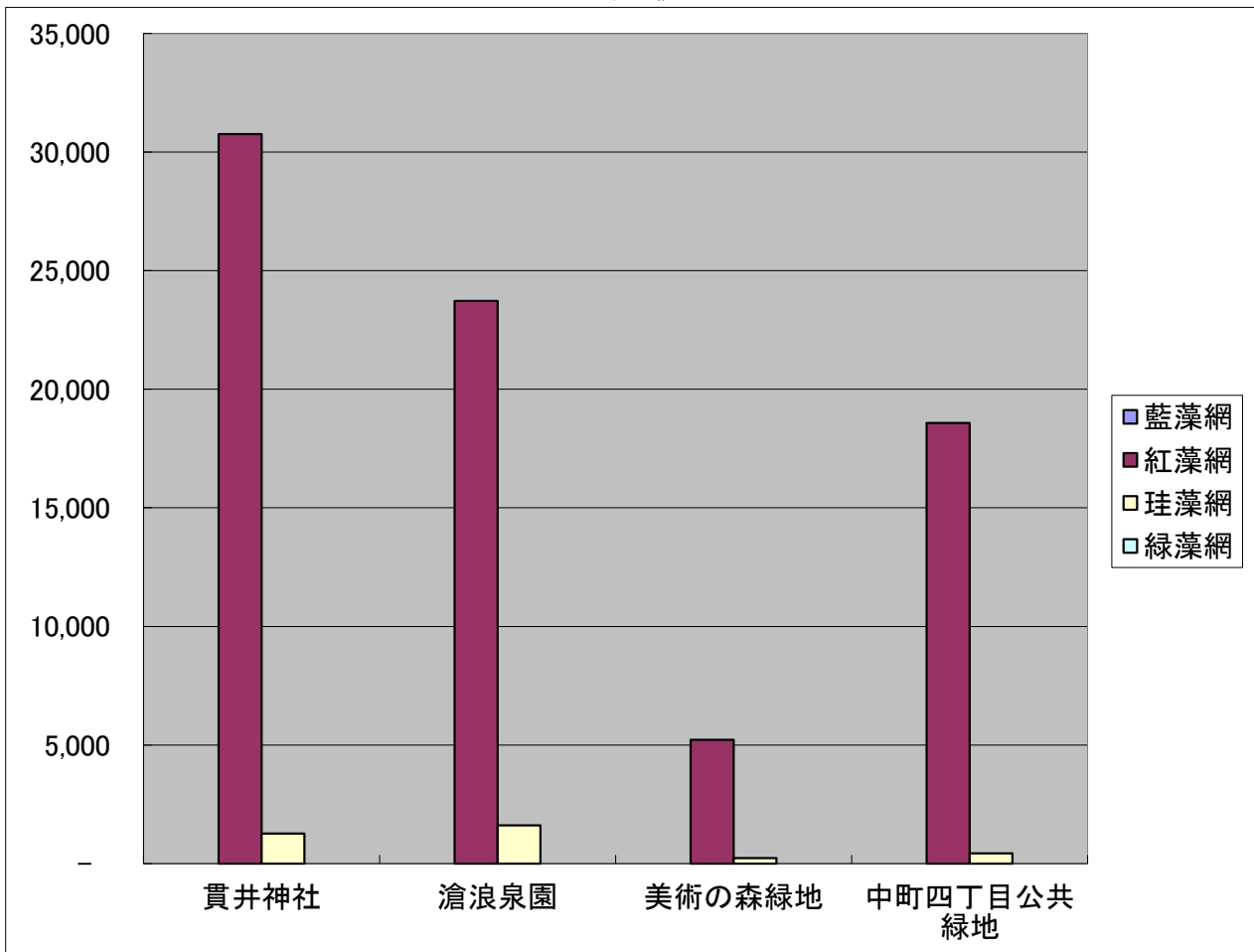


表2-17 付着藻類の地点別優占種

	貫井神社	滄浪泉園	美術の森緑地	中町四丁目公共緑地
優占1位	紅藻網 ベニイトモ属 <i>Audouinella sp</i> 30,753	紅藻網 ベニイトモ属 <i>Audouinella sp</i> 23,724	紅藻網 ベニイトモ属 <i>Audouinella sp</i> 5,220	紅藻網 ベニイトモ属 <i>Audouinella sp</i> 18,577
優占2位	珪藻網 クシケイソウ <i>Eunotia minor</i> 469	珪藻網 ツブスジツメワカレケイソウ <i>Karayevia laterostrata</i> 324	珪藻網 クシケイソウ <i>Eunotia minor</i> 69	珪藻網 コバンケイソウ <i>Cocconeis placentula</i> 290
優占3位	珪藻網 コバンケイソウ <i>Cocconeis placentula</i> 335	珪藻網 ツメワカレケイソウ <i>Achnantheidiun minutissimum</i> 292	珪藻網 フネケイソウ <i>Navicula symmetrica</i> 48	珪藻網 クシケイソウ <i>Eunotia minor</i> 58

※上段は種類名、下段は2季の平均(細胞数/cm<sup>2</sup>)を示す。

以下に各地点の状況を述べる。

**【貫井神社】**

貫井神社は6月に8種類が確認された。

出現種では紅藻網のベニイトモ属、珪藻網のクシケイソウ、コバンケイソウ等が確認された。

**【滄浪泉園】**

滄浪泉園では6月に8種類、12月に8種類、合計12種類が確認された。

出現種では紅藻網のベニイトモ属、珪藻網のツブスジツメワカレケイソウ、ツメワカレケイソウ等が確認された。

**【美術の森緑地】**

美術の森緑地では6月に8種類、12月に4種類、合計10種類が確認された。

出現種では紅藻網のベニイトモ属、珪藻網のクシンケイソウ、フネケイソウ等が確認された。

**【中町四丁目公共緑地】**

中町四丁目公共緑地では6月に4種類、12月に3種類、合計6種類が確認された。

出現種では紅藻網のベニイトモ属、珪藻網のコバンケイソウ、クシケイソウ等が確認された。

2) 注目種・外来種

今回の調査では環境省レッドデータブックの準絶滅危惧種 (NT) に該当するタンスイベニマダラが6月の美術の森緑地において確認された。

外来種に該当する種は確認されなかった。

注目種の選定基準を表2-18に、外来種の選定基準を表2-19に示す。

表2-18 注目種の選定基準

選定基準	
①	「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類植物Ⅰ及び植物Ⅱのレッドリストの見直しについて」(環境省. 2007)における、絶滅危惧ⅠA類(CR)、絶滅危惧ⅠB類(EN)、絶滅危惧Ⅱ類(VU)、準絶滅危惧(NT)、情報不足(DD)
②	「東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)東京都レッドリスト 2010年版」(東京都環境局. 2010)の北多摩地域における、絶滅危惧ⅠA類(CR)、絶滅危惧ⅠB類(EN)、絶滅危惧Ⅱ類(VU)、準絶滅危惧(NT)、情報不足(DD)、留意種

表2-19 外来種の選定基準

選定基準	
①	「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(2004.法律78)における、特定外来、未判定外来生物、種類名証明の添付が必要な生物及び要注意外来生物

水質監視測定及び湧水・地下水位調査等委託

地 下 水 位 測 定

報 告 書

令 和 3 年 度 版

小 金 井 市

# 目 次

1. 業 務 概 要	
1.1 業 務 件 名 .....	1
1.2 受 付 番 号 .....	1
1.3 業 務 目 的 .....	1
1.4 調 査 場 所 .....	1
2. 調 査 内 容	
2.1 水 位 測 定 方 法 .....	2
2.2 調 査 場 所 位 置 図 .....	3
3. 調 査 結 果	
3.1 地 下 水 位 調 査 結 果 .....	4
3.2 調 査 日 .....	4
4. 所 見	
4.1 水 位 変 動 に つ い て .....	18

1. 業務概要

1.1 業務件名

水質監視測定及び湧水・地下水位調査等委託 地下水位測定

1.2 受付番号

3-793

1.3 業務目的

地下水位の状況を測定する。

1.4 調査場所

小金井市内 井戸 11か所

いずれも原則月一回、同一日に測定

井戸水調査No. のあるものは水質測定を実施

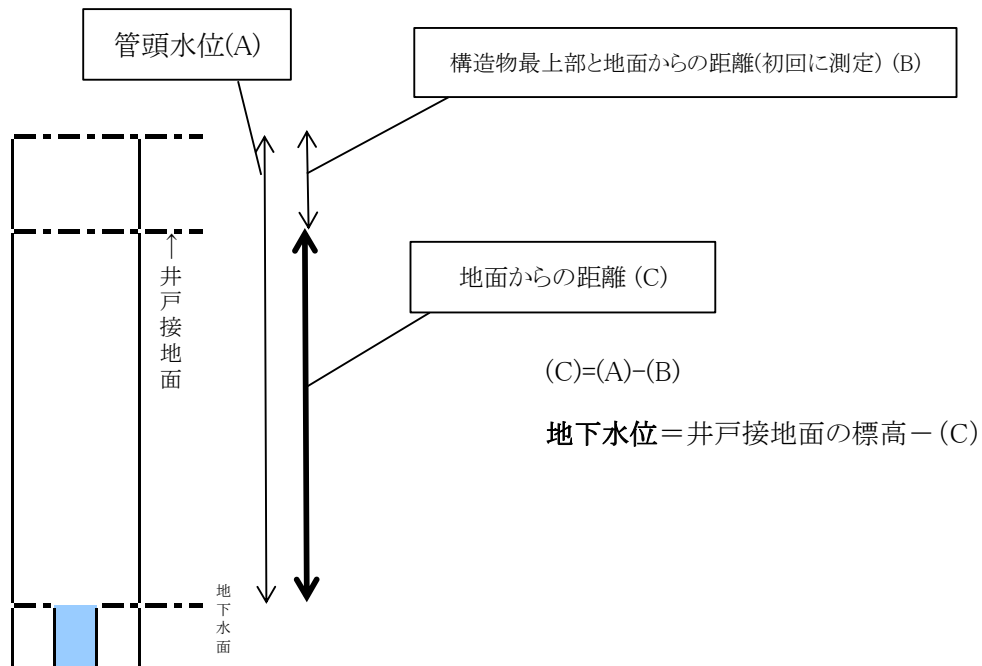
表1. 調査場所

	測定地点	住所	井戸水調査No.
1	個人宅	東町1	9
2	個人宅	緑町1	11
3	中町二丁目第3児童遊園	中町2-1	10
4	はげの森緑地2	中町4-12	
5	前原やなぎ公園	前原町1-12	
6	緑中央通り	本町1-14	
7	特別支援学校	桜町2-1	
8	中間処理場	貫井北町1-8	
9	個人宅	貫井北町3	
10	個人宅	貫井北町5	12
11	かきの木公園	貫井南町2-3	

## 2. 調査内容

### 2.1 水位測定方法

- 管頭水位 : 現場で測定する、井戸構造物最上部(管頭)から水面までの距離(m)・・・(A)  
井戸接地面の標高 : 国土地理院Webサイトを参照。海水面(T.P.)からの高さ(m)  
地面からの距離 : 計算式 (C)  
地下水位 : 本報告書に掲載する値(m)



標高参照元:

国土地理院 GSI Maps

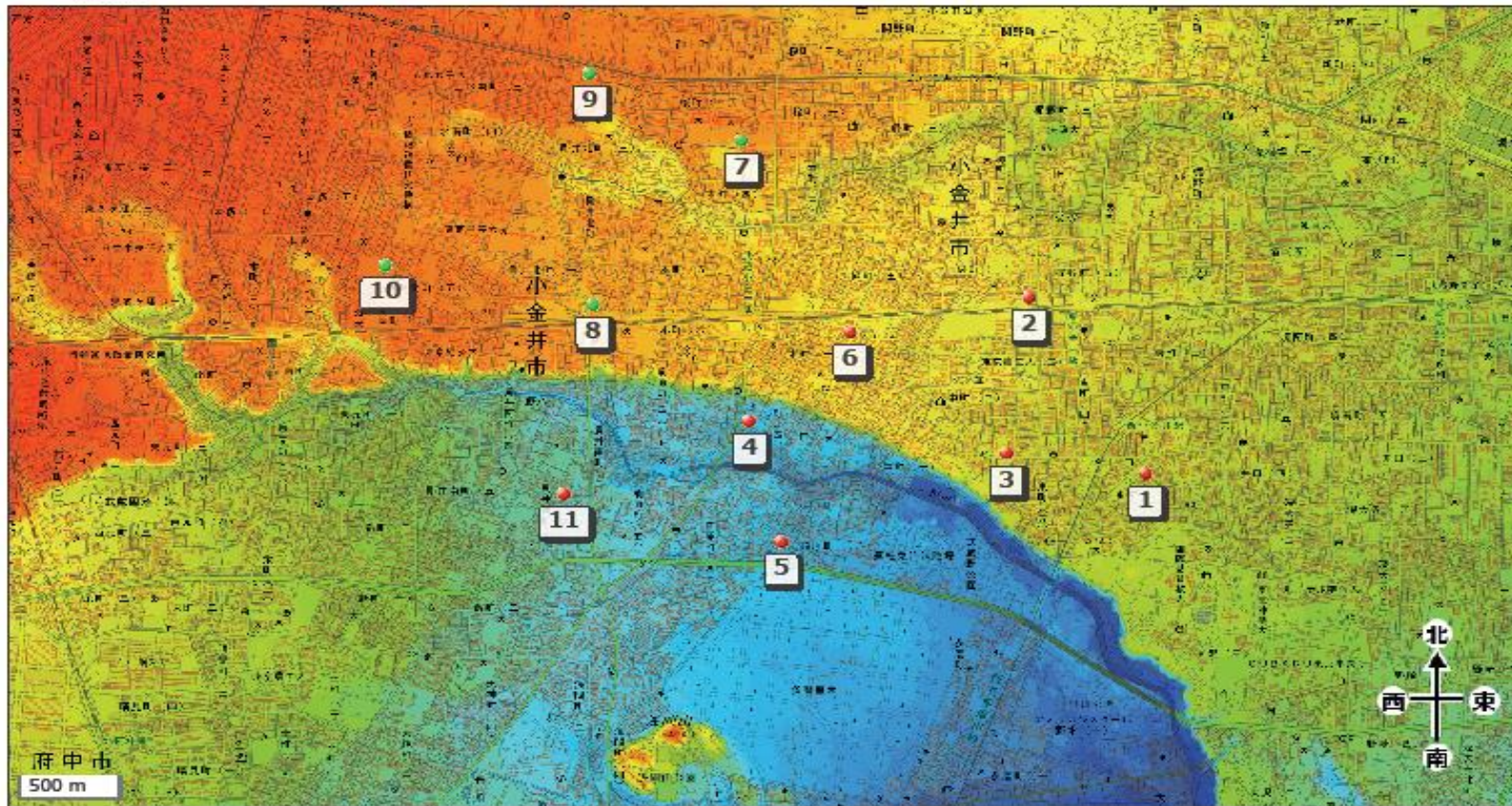
<http://maps.gsi.go.jp/#14/35.697979/139.512291/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0>



2.2 調査位置図

図1. 調査位置

地理院地図  
GSI Maps



出典:国土地理院 GSI Maps

<http://maps.gsi.go.jp/#14/35.697282/139.511776/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1>

### 3. 調査結果

#### 3.1 地下水位調査結果

次ページ以降に測定結果をまとめた

- 図2 ----- 表1のグラフ
- 表2 ----- 地下水位と降水量、及び水位の変動
- 図3 ----- 降雨期、渇水期の変動係数相関図

表2の変動係数は  $\text{標準偏差} \div \text{平均値}$  である  
変動係数は、基準となる平均水位が各地点で異なるため、より正確に水位変動を比較するために導入した。

変動係数が大きい＝水位変動が大きい といえる。

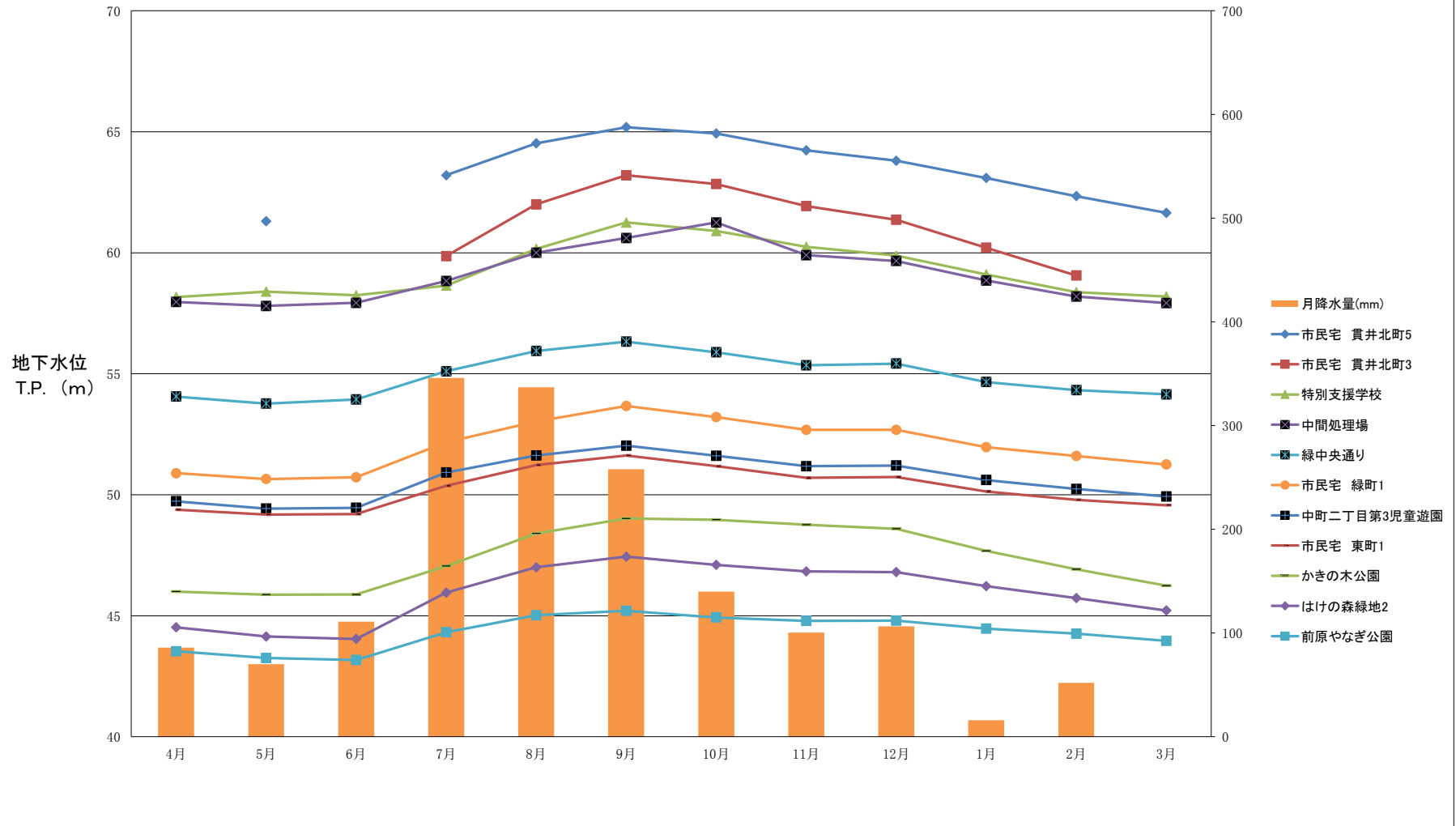
また、4月から10月までの降水量が比較的多い期間を降雨期、降水量の少ない11月から3月までを渇水期として季節による変動係数の比較を行った。

#### 3.2 調査日

#### 気象イベント

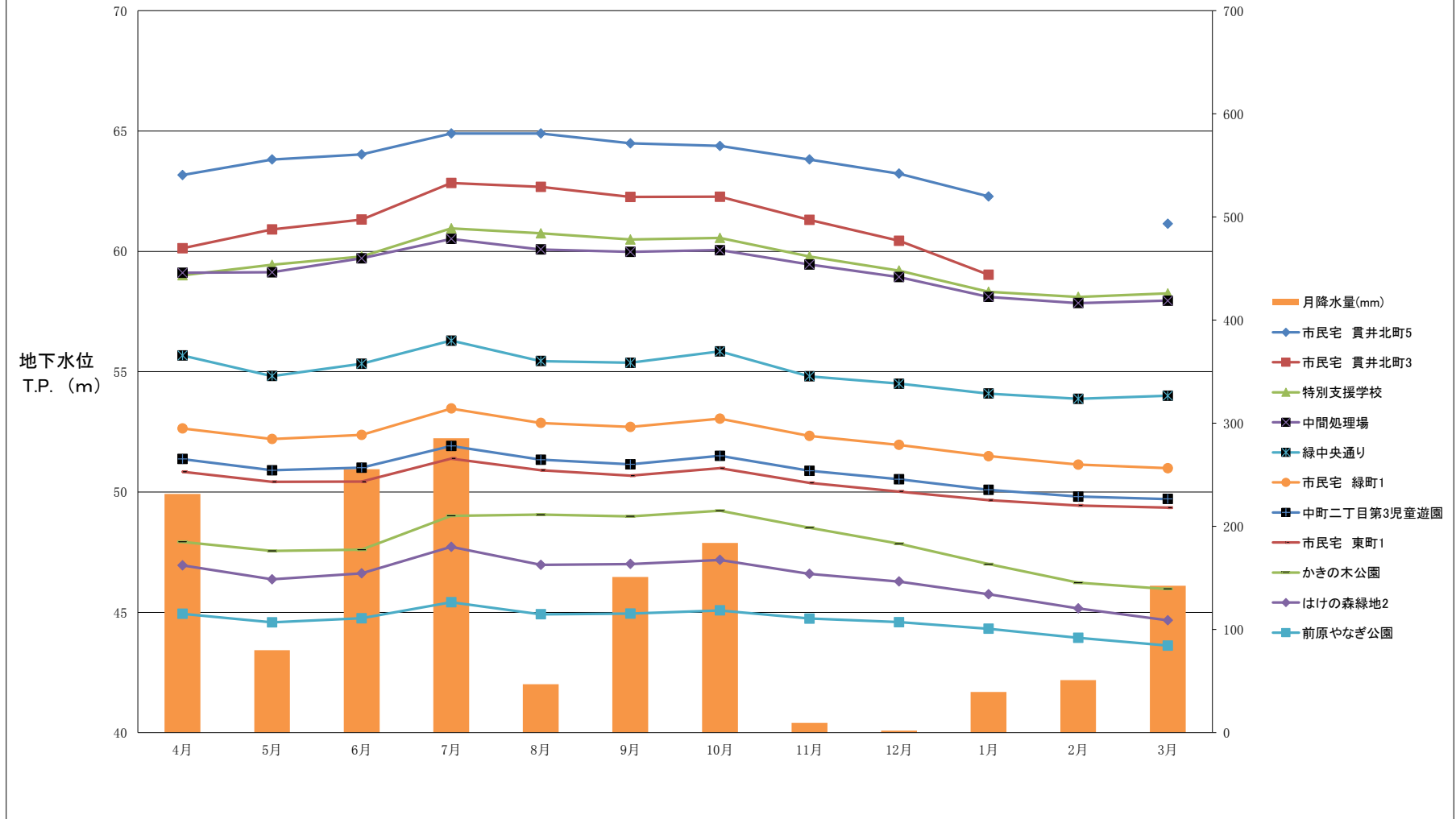
令和3年4月28日		
令和3年5月27日	梅雨入り	6月14日 ごろ
令和3年6月29日	梅雨明け	7月16日 ごろ
令和3年7月30日		
令和3年8月30日	台風8号	8月14日 前後
令和3年9月28日	停滞前線	8月13-15日 ごろ
令和3年10月27日	台風14号	9月18日 前後
令和3年11月26日		
令和3年12月24日		
令和4年1月28日		
令和4年2月25日		
令和4年3月22日		

図2-1. 令和3年度 地下水位の変動



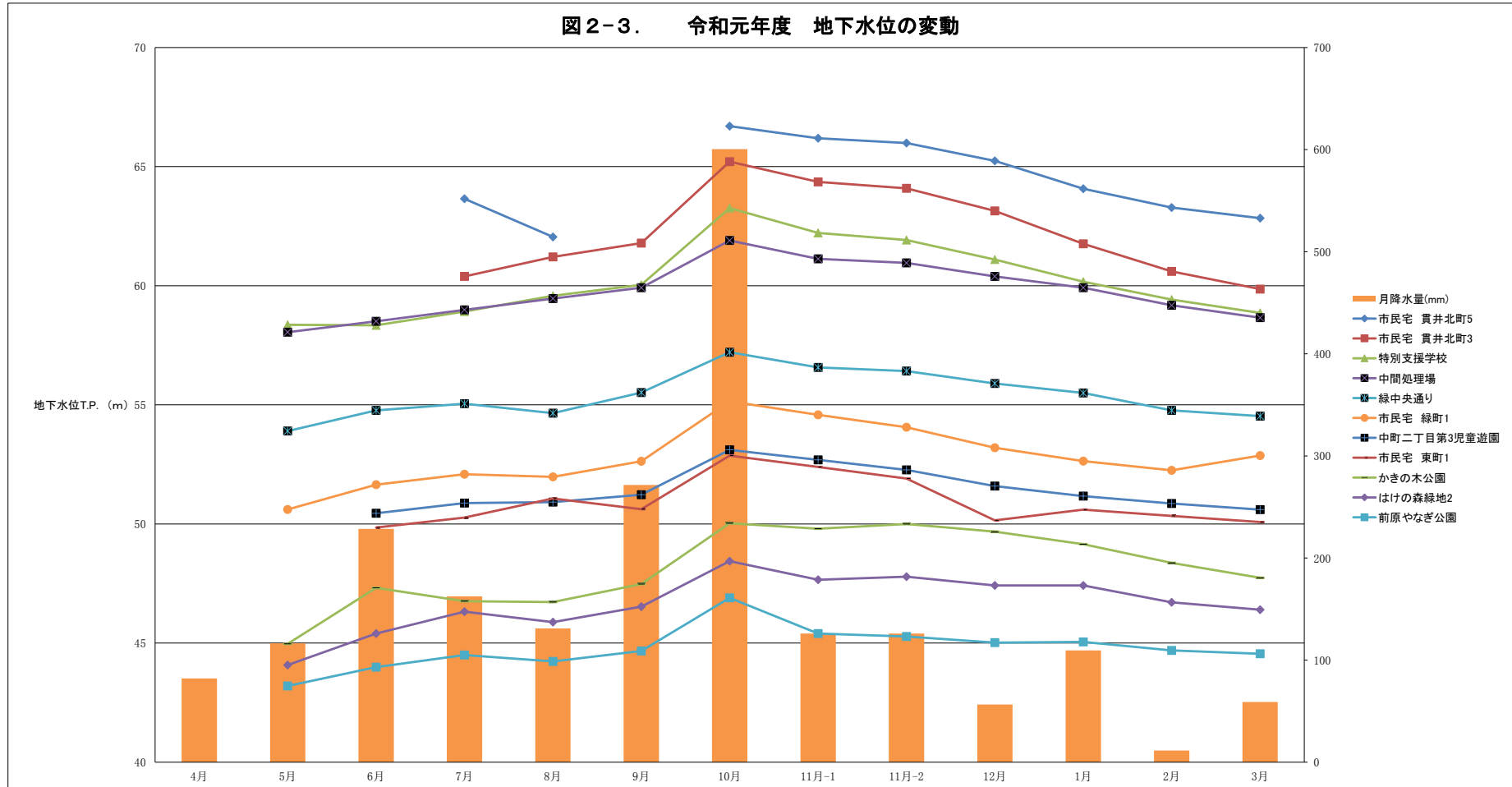
凡例は上から、地面標高が高い順

図2-2. 令和2年度 地下水位の変動



凡例は上から、地面標高が高い順

図2-3. 令和元年度 地下水位の変動



凡例は上から、地面標高が高い順

表2-1-1. 令和3年度 各地点の地下水位(T.P.)、月間降水量

水位単位(m)

測定点(地面の標高の高い順)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	標高(m)
はげ上	10 個人宅 貫井北町5	-	61.30	-	63.20	64.52	65.19	64.93	64.23	63.80	63.09	62.34	61.65	75.3
	9 個人宅 貫井北町3	-	-	-	59.86	62.00	63.20	62.84	61.93	61.36	60.21	59.06	-	74.5
	7 特別支援学校	58.17	58.39	58.24	58.64	60.16	61.25	60.90	60.25	59.88	59.10	58.37	58.19	71.7
	8 中間処理場	57.97	57.80	57.93	58.83	60.00	60.61	61.25	59.90	59.66	58.85	58.19	57.92	70.0
	6 緑中央通り	54.06	53.77	53.94	55.10	55.94	56.33	55.89	55.35	55.42	54.66	54.32	54.15	67.0
	2 個人宅 緑町1	50.89	50.65	50.72	52.17	53.03	53.67	53.21	52.68	52.68	51.97	51.60	51.25	65.3
	3 中町二丁目第3児童遊園	49.73	49.43	49.46	50.92	51.62	52.03	51.61	51.18	51.21	50.61	50.24	49.93	63.7
	1 個人宅 東町1	49.38	49.18	49.20	50.37	51.23	51.62	51.18	50.70	50.73	50.13	49.79	49.57	62.5
はげ下	11 かきの木公園	46.00	45.87	45.88	47.05	48.40	49.02	48.97	48.76	48.59	47.68	46.92	46.24	54.9
	4 はげの森緑地2	44.52	44.14	44.04	45.95	47.00	47.44	47.10	46.83	46.80	46.22	45.73	45.22	51.2
	5 前原やなぎ公園	43.53	43.25	43.17	44.32	45.02	45.20	44.93	44.79	44.80	44.47	44.26	43.96	50.9
月間降水量(mm)		86.0	70	111	346	337	258	140	100.5	106.5	16	52	0	

表中、オレンジは最高水位、および最多降水量

緑は最低水位、及び最小降水量

- 水位欠測

降水量は気象庁府中観測所の測定値を参照

測定月1日から月末までの総降水量を記載

台風8号:7/28前後

停滞前線:8/13~8/15頃

台風14号:9/18前後

表2-1-2. 令和3年度 水位の変動

	測定点(地面の標高の高い順)	水位平均(m)	最高水位(m)	最低水位(m)	年間変動幅(m)	年間の標準偏差(m)	年間の変動係数
はけ上	10 個人宅 貫井北町5	63.43	65.19	61.30	3.89	1.35	0.021
	9 個人宅 貫井北町3	61.31	63.20	59.06	4.14	1.47	0.024
	7 特別支援学校	59.30	61.25	58.17	3.08	1.13	0.019
	8 中間処理場	59.08	61.25	57.80	3.45	1.18	0.020
	6 緑中央通り	54.91	56.33	53.77	2.56	0.88	0.016
	2 個人宅 緑町1	52.04	53.67	50.65	3.02	1.03	0.020
	3 中町二丁目第3児童遊園	50.66	52.03	49.43	2.60	0.90	0.018
	1 個人宅 東町1	50.26	51.62	49.18	2.44	0.84	0.017
はけ下	11 かきの木公園	47.45	49.02	45.87	3.15	1.27	0.027
	4 はけの森緑地2	45.92	47.44	44.04	3.40	1.20	0.026
	5 前原やなぎ公園	44.31	45.20	43.17	2.03	0.70	0.016

		変動係数平均 4~10月	水位の変動係数 4~10月	変動係数平均 11~3月	水位の変動係数 11~3月	水位の標準偏差(m) 4~10月	水位の標準偏差(m) 11~3月
はけ上	10 個人宅 貫井北町5	0.023	0.0252	0.014	0.0167	1.61	1.05
	9 個人宅 貫井北町3		0.0242		0.0210	1.50	1.27
	7 特別支援学校		0.0225		0.0153	1.34	0.90
	8 中間処理場		0.0239		0.0148	1.42	0.87
	6 緑中央通り		0.0196		0.0106	1.08	0.58
	2 個人宅 緑町1		0.0248		0.0123	1.29	0.64
	3 中町二丁目第3児童遊園		0.0222		0.0112	1.12	0.57
	1 個人宅 東町1		0.0210		0.0104	1.06	0.52
はけ下	11 かきの木公園	0.028	0.0308	0.015	0.0226	1.46	1.08
	4 はけの森緑地2		0.0326		0.0151	1.49	0.69
	5 前原やなぎ公園		0.0199		0.0081	0.88	0.36
降水量変動係数		0.616		0.876			
平均降水量(mm)		192.571		55.000			

表中、

オレンジは最大変動幅

緑は最小変動幅

表2-2-1. 令和2年度 各地点の地下水位(T.P.)、月間降水量

水位単位(m)

測定点(地面の標高の高い順)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	標高(m)
はげ上	10 個人宅 貫井北町5	63.17	63.82	64.03	64.90	64.90	64.49	64.38	63.82	63.23	62.28	-	61.15	75.3
	9 個人宅 貫井北町3	60.13	60.91	61.32	62.84	62.68	62.26	62.27	61.31	60.44	59.03	-	-	74.5
	7 特別支援学校	59.01	59.44	59.79	60.96	60.75	60.49	60.56	59.79	59.20	58.32	58.11	58.25	71.7
	8 中間処理場	59.11	59.13	59.71	60.52	60.08	59.98	60.05	59.45	58.93	58.11	57.85	57.95	70.0
	6 緑中央通り	55.67	54.82	55.33	56.29	55.44	55.37	55.84	54.81	54.50	54.09	53.87	54.00	67.0
	2 個人宅 緑町1	52.64	52.20	52.37	53.47	52.87	52.70	53.05	52.33	51.96	51.49	51.14	50.99	65.3
	3 中町二丁目第3児童遊園	51.37	50.90	51.01	51.91	51.34	51.15	51.50	50.88	50.53	50.09	49.81	49.71	63.7
	1 個人宅 東町1	50.84	50.42	50.43	51.39	50.90	50.68	50.99	50.38	50.02	49.66	49.44	49.35	62.5
はげ下	11 かきの木公園	47.93	47.55	47.60	49.01	49.06	48.99	49.22	48.52	47.85	47.00	46.23	45.97	54.9
	4 はげの森緑地2	46.95	46.37	46.62	47.72	46.97	47.01	47.18	46.60	46.28	45.75	45.16	44.67	51.2
	5 前原やなぎ公園	44.94	44.58	44.75	45.42	44.92	44.95	45.08	44.74	44.59	44.32	43.94	43.62	50.9
月間降水量(mm)		231.5	80	255.5	285.5	47	151	184	9.5	2	39.5	51	142.5	

表中、オレンジは最高水位、および最多降水量

緑は最低水位、及び最小降水量

降水量は気象庁府中観測所の測定値を参照

測定月1日から月末までの総降水量を記載

台風10号:9/5前後

台風14号:10/9前後

- 水位欠測



表2-2-2. 令和2年度 水位の変動

	測定点(地面の標高の高い順)	水位平均(m)	最高水位(m)	最低水位(m)	年間変動幅(m)	年間の標準偏差(m)	年間の変動係数
はけ上	10 個人宅 貫井北町5	63.65	64.90	61.15	3.75	1.14	0.018
	9 個人宅 貫井北町3	61.32	62.84	59.03	3.81	1.23	0.020
	7 特別支援学校	59.56	60.96	58.11	2.85	1.01	0.017
	8 中間処理場	59.24	60.52	57.85	2.67	0.89	0.015
	6 緑中央通り	55.00	56.29	53.87	2.42	0.78	0.014
	2 個人宅 緑町1	52.27	53.47	50.99	2.48	0.76	0.015
	3 中町二丁目第3児童遊園	50.85	51.91	49.71	2.20	0.69	0.014
	1 個人宅 東町1	50.38	51.39	49.35	2.04	0.64	0.013
はけ下	11 かきの木公園	47.91	49.22	45.97	3.25	1.10	0.023
	4 はけの森緑地2	46.44	47.72	44.67	3.05	0.87	0.019
	5 前原やなぎ公園	44.65	45.42	43.62	1.80	0.50	0.011

		変動係数平均 4~10月	水位の変動係数 4~10月	変動係数平均 11~3月	水位の変動係数 11~3月	水位の標準偏差(m) 4~10月	水位の標準偏差(m) 11~3月
はけ上	10 個人宅 貫井北町5	0.010	0.0097	0.012	0.0186	0.62	1.17
	9 個人宅 貫井北町3		0.0163		0.0191	1.01	1.15
	7 特別支援学校		0.0122		0.0124	0.73	0.73
	8 中間処理場		0.0087		0.0120	0.52	0.70
	6 緑中央通り		0.0083		0.0072	0.46	0.39
	2 個人宅 緑町1		0.0081		0.0109	0.43	0.56
	3 中町二丁目第3児童遊園		0.0066		0.0098	0.34	0.49
	1 個人宅 東町1		0.0067		0.0086	0.34	0.43
はけ下	11 かきの木公園	0.010	0.0155	0.017	0.0228	0.75	1.07
	4 はけの森緑地2		0.0091		0.0173	0.43	0.79
	5 前原やなぎ公園		0.0059		0.0104	0.26	0.46
降水量変動係数		0.507		1.148			
平均降水量(mm)		176.357		48.900			

表中、

オレンジは最大変動幅  
緑は最小変動幅

表2-3-1. 令和元年度 各地点の地下水位(T.P.)、月間降水量

水位単位(m)

測定点(地面の標高の高い順)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月-1	11月-2	12月	1月	2月	3月	標高(m)
はけ上	10 個人宅 貫井北町5		-	-	63.65	62.05	-	66.70	66.19	65.99	65.24	64.07	63.28	62.84	75.3
	9 個人宅 貫井北町3		-	-	60.39	61.21	61.79	65.21	64.36	64.09	63.14	61.76	60.60	59.86	74.5
	7 特別支援学校		58.36	58.34	58.92	59.58	60.04	63.26	62.22	61.92	61.10	60.17	59.42	58.86	71.7
	8 中間処理場		58.05	58.51	58.99	59.46	59.92	61.90	61.13	60.96	60.39	59.92	59.18	58.66	70.0
	6 緑中央通り		53.90	54.77	55.05	54.65	55.52	57.21	56.57	56.42	55.90	55.50	54.77	54.53	67.0
	2 個人宅 緑町1		50.61	51.65	52.09	51.98	52.63	55.15	54.58	54.06	53.20	52.64	52.25	52.87	65.3
	3 中町二丁目第3児童遊園		-	50.45	50.88	50.92	51.23	53.11	52.69	52.27	51.59	51.17	50.86	50.60	63.7
	1 個人宅 東町1		-	49.85	50.27	51.07	50.62	52.87	52.39	51.91	50.15	50.60	50.34	50.08	62.5
はけ下	11 かきの木公園		44.97	47.32	46.76	46.72	47.48	50.03	49.80	50.00	49.68	49.15	48.37	47.74	54.9
	4 はけの森緑地2		44.08	45.40	46.32	45.88	46.53	48.44	47.66	47.79	47.42	47.42	46.71	46.40	51.2
	5 前原やなぎ公園		43.20	43.99	44.50	44.23	44.67	46.90	45.40	45.28	45.02	45.05	44.69	44.55	50.9
月間降水量(mm)		82.0	116.5	228.5	162.5	131	271.5	600.5	126	126	56.5	109.5	11.5	59	

表中、 **オレンジ**は最高水位、および最多降水量  
**緑**は最低水位、及び最小降水量  
 降水量は気象庁府中観測所の測定値を参照  
 測定月1日から月末までの総降水量を記載、ただし3月は3/1から3/18まで  
 台風15号: 9/9  
 台風19号: 10/12

表2-3-2. 令和元年度 水位の変動

	測定点(地面の標高の高い順)	水位平均(m)	最高水位(m)	最低水位(m)	年間変動幅(m)	年間の標準偏差(m)	年間の変動係数
はけ上	10 個人宅 貫井北町5	64.45	66.70	62.05	4.65	1.64	0.025
	9 個人宅 貫井北町3	62.24	65.21	59.86	5.35	1.85	0.030
	7 特別支援学校	60.18	63.26	58.34	4.92	1.61	0.027
	8 中間処理場	59.76	61.90	58.05	3.85	1.17	0.020
	6 緑中央通り	55.40	57.21	53.90	3.31	0.97	0.018
	2 個人宅 緑町1	52.81	55.15	50.61	4.54	1.28	0.024
	3 中町二丁目第3児童遊園	51.43	53.11	50.45	2.66	0.88	0.017
	1 個人宅 東町1	50.92	52.87	49.85	3.02	1.02	0.020
はけ下	11 かきの木公園	48.17	50.03	44.97	5.06	1.61	0.033
	4 はけの森緑地2	46.67	48.44	44.08	4.36	1.19	0.026
	5 前原やなぎ公園	44.79	46.90	43.20	3.7	0.90	0.020

		変動係数平均 5~10月	水位の変動係数 5~10月	変動係数平均 11~3月	水位の変動係数 11~3月	水位の標準偏差(m) 5~10月	水位の標準偏差(m) 11~3月
はけ上	10 個人宅 貫井北町5	0.027	0.0368	0.020	0.0219	2.36	1.41
	9 個人宅 貫井北町3		0.0341		0.0298	2.12	1.86
	7 特別支援学校		0.0309		0.0224	1.85	1.36
	8 中間処理場		0.0229		0.0163	1.36	0.98
	6 緑中央通り		0.0204		0.0151	1.13	0.84
	2 個人宅 緑町1		0.0291		0.0167	1.53	0.89
	3 中町二丁目第3児童遊園		0.0203		0.0159	1.04	0.82
	1 個人宅 東町1		0.0230		0.0194	1.17	0.99
はけ下	11 かきの木公園	0.031	0.0348	0.012	0.0182	1.64	0.90
	4 はけの森緑地2		0.0312		0.0117	1.44	0.55
	5 前原やなぎ公園		0.0280		0.0073	1.25	0.33
	降水量変動係数	0.718		0.632			
	平均降水量(mm)	251.750		72.500			

表中、

オレンジは最大変動幅

緑は最小変動幅

令和元年度は4月のデータが無いので降水期を5月から10月とした。  
また、11月の2回分をデータ処理に用いている。

図3-1-1. 令和3年度 降雨期、渇水期の変動係数相関図（はけ上）

渇水期変動係数

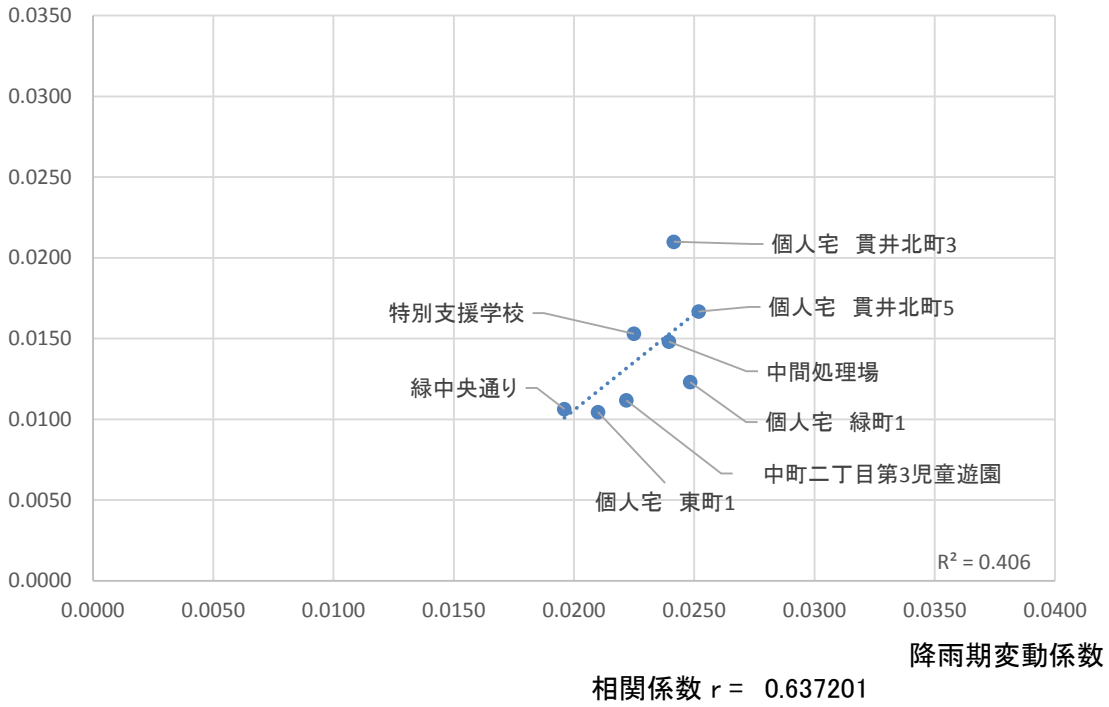


図3-1-2. 令和3年度 降雨期、渇水期の変動係数相関図（はけ下）

渇水期変動係数

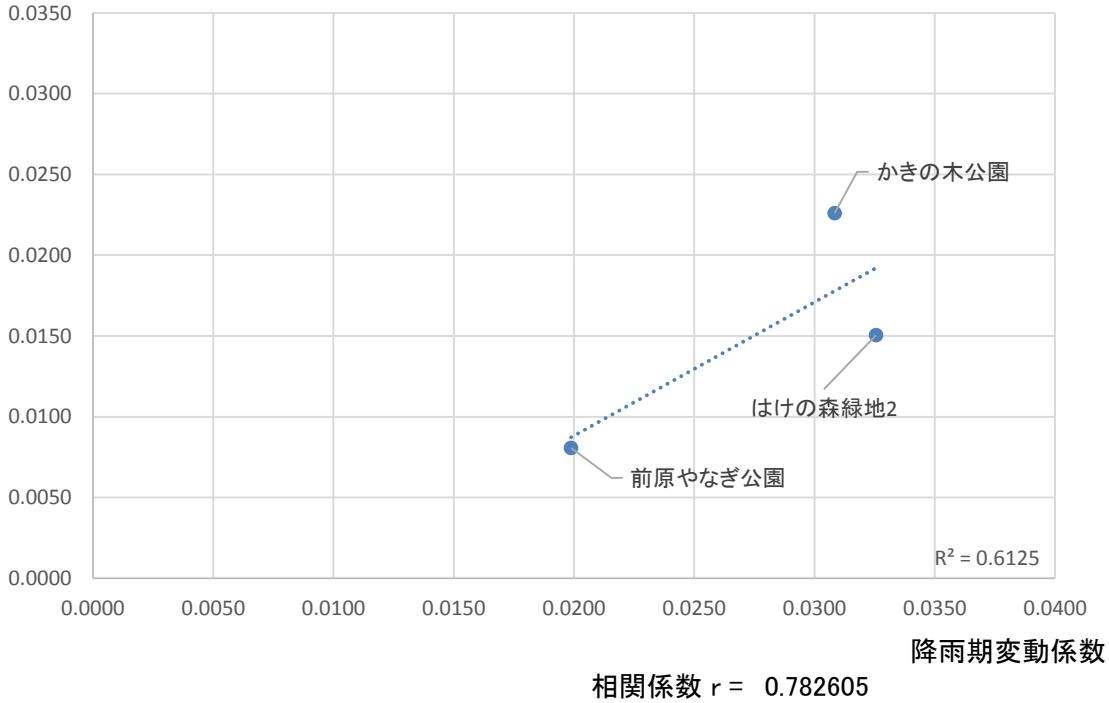


図3-2-1. 令和2年度 降雨期、渇水期の変動係数相関図（はけ上）

渇水期変動係数

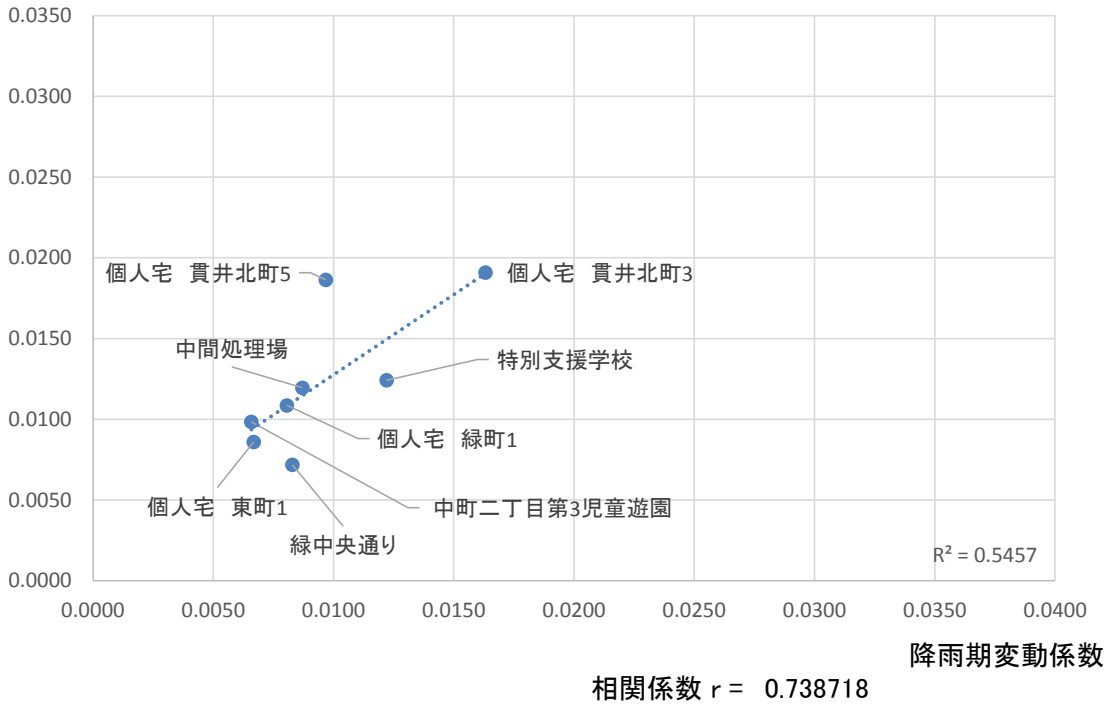


図3-2-2. 令和2年度 降雨期、渇水期の変動係数相関図（はけ下）

渇水期変動係数

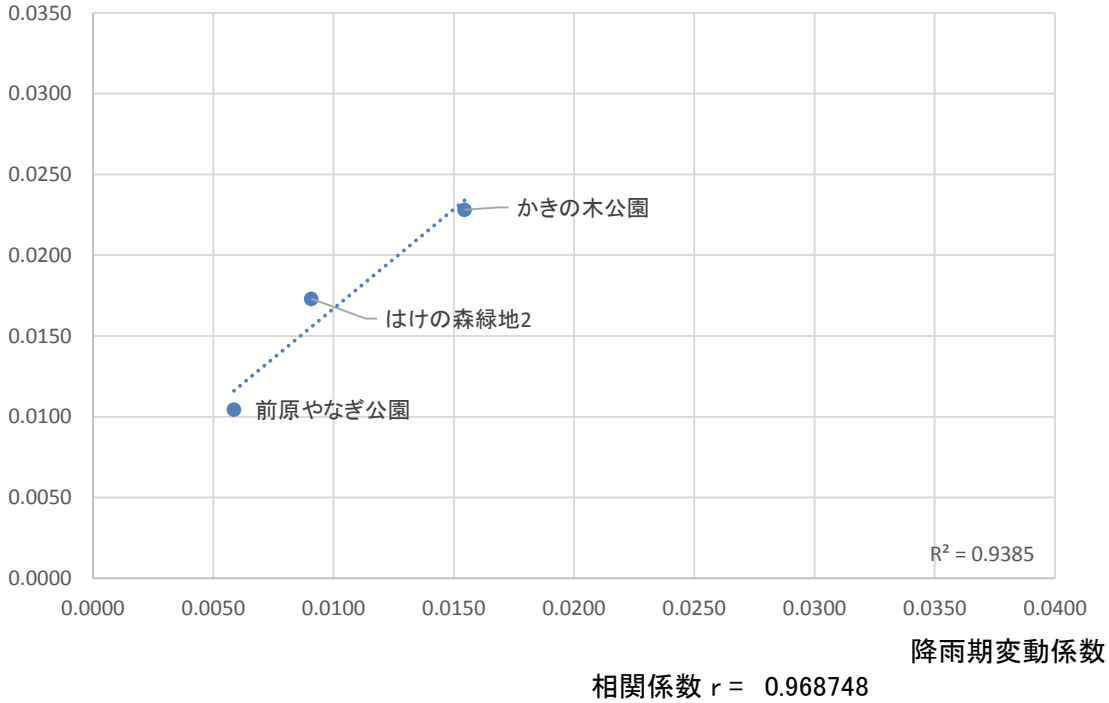
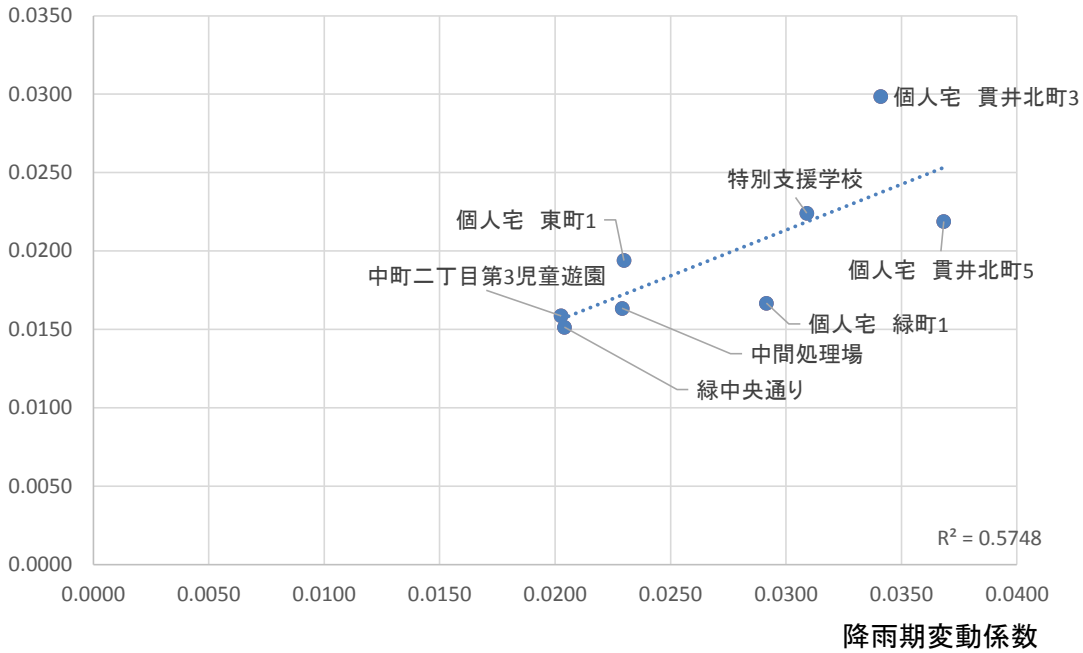


図3-3-1. 令和元年度 降雨期、渇水期の変動係数相関図（はけ上）

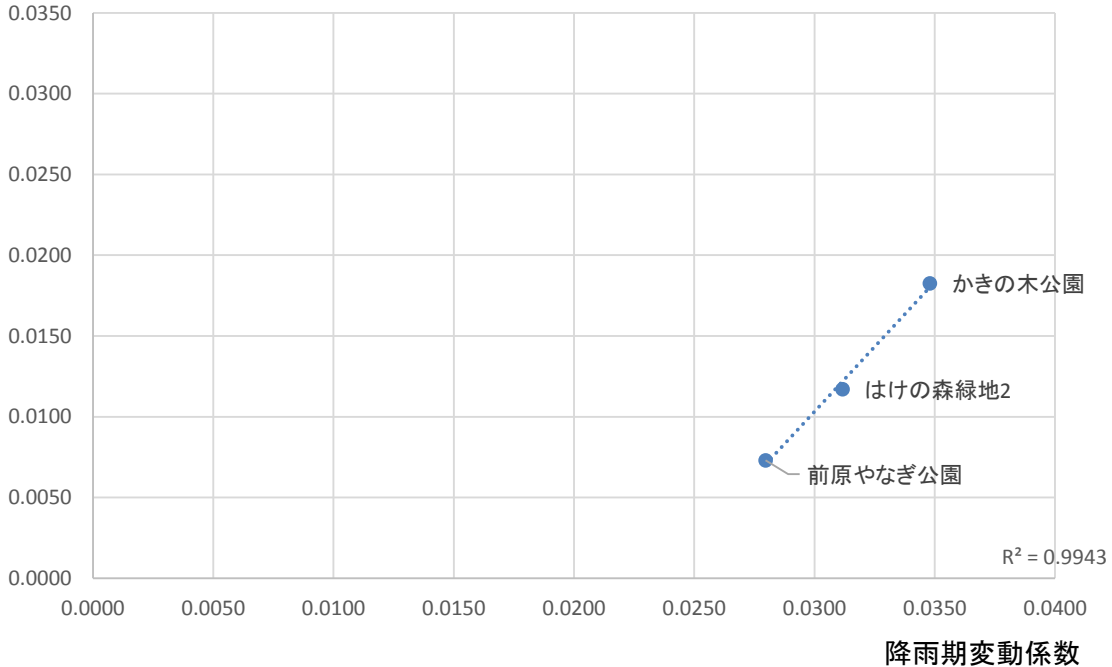
渇水期変動係数



相関係数  $r = 0.758135$

図3-3-2. 令和元年度 降雨期、渇水期の変動係数相関図（はけ下）

渇水期変動係数



相関係数  $r = 0.997128$

相関係数 r :

以下の式であらわされる、2変数(X:降雨期変動係数、Y:渇水期変動係数)の間に、どの程度相関関係があるかを示す数値。一般に0.7以上で強い相関関係にあるとされる。

$$r = \frac{\frac{1}{N} \sum_{i=1}^N (X_i - \bar{X})(Y_i - \bar{Y})}{\sqrt{\frac{1}{N} \sum_{i=1}^N (X_i - \bar{X})^2} \sqrt{\frac{1}{N} \sum_{i=1}^N (Y_i - \bar{Y})^2}}$$

$X_i$ : 地点毎の降雨期変動係数

$\bar{X}$ : 全地点での降雨期変動係数の平均

$Y_i$ : 地点毎の渇水期変動係数

$\bar{Y}$ : 全地点での渇水期変動係数の平均

N: サンプル数、( N=11)

R<sup>2</sup>値:

図3.の相関図中のR<sup>2</sup>の値は、相関係数rの2乗値である。点線で示す回帰直線からのばらつき  
の程度を表し、1に近づくほどばらつきが小さいといえる。

この値が1より小さいとき、回帰直線から外れるものがあるといえる。たとえば回帰直線の上に外  
れた場合、水位が上昇しにくい割には低下しやすい傾向がある、などといえる。

#### 4. 所見

以前と同様、井戸水位は降水量に追従して上下する傾向がみられた。

表2-1-2. より、年間を通じて最も変動幅が大きかったのは、9.貫井北町3丁目個人宅、小さかったのは、5.前原やなぎ公園で例年と同様であった。

11.かきの木公園については、渇水期に変動係数が各地点中最大となって、水位が低下しやすい傾向がみられた。これも例年同様であった。

図3について

変動係数について、降雨期と渇水期の間で相関関係があるかを調べた。

以前と同様、降雨期に変動係数が大きい地点は、同様に渇水期も変動係数が大きくなる傾向が見られた。



## 令和4年度環境政策課環境系の事業計画について

単位:円

事業名	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	令和3年度対比
<b>こん虫等駆除及び雑草除去に要する経費</b>	<b>1,675,000</b>	<b>1,081,000</b>	<b>594,000</b>
<p>&lt;事業概要&gt; 害虫等の駆除相談や空き家、あき地の苦情対応により、市民の快適な生活環境を確保する。 なお、雑草等の除去に関する相談については、原則的には所有者等が民間事業者に依頼してもらえるよう案内をしているが、「小金井市あき地の管理の適正化に関する条例」第8条に基づき、あき地の所有者等が自ら雑草等を除去することができないあき地については、市が委託を受けて外部委託で除去作業を行っている。</p> <p>&lt;経費内訳&gt;</p>			
<b>【需用費】</b>	147,000	154,000	△ 7,000
消耗品費	143,000	150,000	△ 7,000
医薬材料費	4,000	4,000	0
<b>【役務費】</b>	6,000	3,000	3,000
郵便料	6,000	3,000	3,000
<b>【委託料】</b>	1,304,000	666,000	638,000
あき地除草委託料	129,000	93,000	36,000
アライグマ・ハクビシン防除委託料	1,175,000	573,000	602,000
<b>【備品購入費】</b>	218,000	258,000	△ 40,000
維持管理機器一式	218,000	258,000	△ 40,000
<b>飼い主のいない猫対策に要する経費</b>	<b>649,000</b>	<b>654,000</b>	<b>△ 5,000</b>
<p>&lt;事業概要&gt; 飼い主のいない猫による糞尿被害や鳴き声による騒音問題等に起因する市民からの苦情が近年急増していることに伴い、「小金井市飼い主のいない猫対策要綱」、「飼い主のいない猫の地域猫活動ガイドライン」を制定し、平成28年度より開始した事業。地域住民・ボランティア・行政の三者協働で飼い主のいない猫を適正に管理し、飼い主のいない猫の繁殖を抑え、市民の生活環境に対する被害及び迷惑を未然に防止し、公衆衛生の向上を図り、人と猫との調和のとれた共生社会の推進に資することを目的としている。</p> <p>&lt;経費内訳&gt;</p>			
<b>【報償費】</b>	102,000	102,000	0
飼い主のいない猫対策協議会委員謝礼	102,000	102,000	0
<b>【需用費】</b>	96,000	100,000	△ 4,000
消耗品費	82,000	86,000	△ 4,000
印刷製本費	14,000	14,000	0
<b>【役務費】</b>	1,000	2,000	△ 1,000
郵便料	1,000	2,000	△ 1,000
<b>【負担金補助及び交付金】</b>	450,000	450,000	0
飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助金	450,000	450,000	0

事業名	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	令和3年度対比
<b>環境調査・測定に要する経費</b>	<b>4,193,000</b>	<b>4,349,000</b>	<b>△ 156,000</b>
<p>&lt;事業概要&gt;            大気、騒音、振動、水質等を測定して環境の現状を調査し、データを収集整理することにより、環境保全対策や将来予測の基礎資料とする。</p>			
<p>&lt;経費内訳&gt;</p>			
<b>【報酬】</b>	147,000	143,000	4,000
環境調査・測定業務会計年度任用職員報酬(1人)	147,000	143,000	4,000
<b>【報償費】</b>	1,000	1,000	0
苦情用調査時電源提供者謝礼	1,000	1,000	0
<b>【需用費】</b>	53,000	53,000	0
消耗品費	9,000	9,000	0
緊急修繕料(備品)	44,000	44,000	0
<b>【委託料】</b>	3,826,000	3,986,000	△ 160,000
大気質調査委託料	396,000	396,000	0
事業所等公害発生時調査委託料	147,000	147,000	0
ダイオキシン類測定委託料	495,000	495,000	0
自動車騒音常時監視調査委託料	1,155,000	1,320,000	△ 165,000
水質監視測定及び湧水・地下水位調査等委託料	1,633,000	1,628,000	5,000
<b>【使用料及び賃借料】</b>	166,000	166,000	0
自動車騒音常時監視用パーソナルコンピュータ借上料	72,000	72,000	0
デジタルマップ使用料	94,000	94,000	0
<b>光化学スモッグ緊急対策に要する経費</b>	<b>39,000</b>	<b>39,000</b>	<b>0</b>
<p>&lt;事業概要&gt;            光化学スモッグにより被害を受けた市民の方に対し、緊急に医師の派遣を行い、医療機関の処置を受けた市民の方に対してお見舞金を支給する。</p>			
<p>&lt;経費内訳&gt;</p>			
<b>【委託料】</b>	37,000	37,000	0
光化学スモッグ被害者検診委託料	37,000	37,000	0
<b>【負担金補助及び交付金】</b>	2,000	2,000	0
光化学スモッグ被害者見舞金	2,000	2,000	0

事業名	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	令和3年度対比
<b>環境対策事務に要する経費</b>	<b>19,538,000</b>	<b>16,283,000</b>	<b>3,255,000</b>
<p>&lt;事業概要&gt; 環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進していく。</p>			
<p>&lt;経費内訳&gt;</p>			
<b>【報酬】</b>	4,550,000	4,569,000	△ 19,000
環境審議会委員報酬(10人)	404,000	303,000	101,000
地下水保全会議委員報酬(5人)	153,000	153,000	0
環境対策業務会計年度任用職員報酬(2人)	3,993,000	4,113,000	△ 120,000
<b>【職員手当等】</b>	794,000	744,000	50,000
会計年度任用職員(月割)期末手当	794,000	744,000	50,000
<b>【需用費】</b>	209,000	232,000	△ 23,000
消耗品費	60,000	60,000	0
印刷製本費	72,000	72,000	0
光熱水費(電気料金)	11,000	12,000	△ 1,000
緊急修繕料(車検等)	66,000	88,000	△ 22,000
<b>【役務費】</b>	49,000	34,000	15,000
郵便料	49,000	34,000	15,000
<b>【委託料】</b>	175,000	150,000	25,000
環境審議会会議録作成委託料	100,000	75,000	25,000
地下水保全会議会議録作成委託料	75,000	75,000	0
<b>【使用料及び賃借料】</b>	100,000	103,000	△ 3,000
電子複写機使用料	100,000	103,000	△ 3,000
<b>【負担金補助及び交付金】</b>	13,661,000	10,451,000	3,210,000
環境市民会議補助金	50,000	50,000	0
雨水貯留施設設置費補助金	300,000	300,000	0
住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金	10,045,000	10,045,000	0
次世代自動車普及促進補助事業	3,200,000	0	3,200,000
東京都市公害事務連絡協議会負担金	1,000	1,000	0
グリーン購入ネットワーク参加負担金	15,000	15,000	0
野川流域環境保全協議会負担金	30,000	30,000	0
水資源保全全国自治体連絡会シンポジウム開催負担金	20,000	10,000	10,000

事業名	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	令和3年度対比
<b>環境啓発に要する経費</b>	<b>7,904,000</b>	<b>2,807,000</b>	<b>5,097,000</b>
<p>&lt;事業概要&gt; イベントや講座等の開催を通じて市民の方に環境啓発を行い、小金井市環境基本計画及び小金井市地球温暖化対策地域推進計画を推進していく。</p> <p>&lt;経費内訳&gt;</p>			
<b>【報償費】</b>	160,000	160,000	0
環境賞記念品	20,000	20,000	0
省エネチャレンジ達成記念品	140,000	140,000	
<b>【役務費】</b>	24,000	5,000	19,000
郵便料	24,000	5,000	
<b>【委託料】</b>	7,720,000	2,642,000	5,078,000
環境啓発事業委託料	1,471,000	904,000	567,000
環境教育事業支援委託料	3,517,000	1,288,000	2,229,000
子ども環境ワークショップ支援委託料	1,965,000	450,000	1,515,000
森林教育事業支援委託料	767,000	0	767,000
<b>環境配慮住宅型研修施設の維持管理に要する経費</b>	<b>4,998,000</b>	<b>5,010,000</b>	<b>△ 12,000</b>
<p>&lt;事業概要&gt; 環境配慮住宅型研修施設の施設維持管理や環境学習講座の運営等を委託し、地球温暖化防止のための活動を広く普及啓発していく。</p> <p>&lt;経費内訳&gt;</p>			
<b>【需用費】</b>	207,000	219,000	△ 12,000
消耗品費	95,000	62,000	33,000
印刷製本費	0	26,000	△ 26,000
光熱水費(電気料金)	23,000	26,000	△ 3,000
光熱水費(都市ガス料金)	11,000	11,000	0
光熱水費(上下水道料金)	28,000	0	28,000
光熱水費(上水道料金)	0	31,000	△ 31,000
光熱水費(下水道料金)	0	13,000	△ 13,000
緊急修繕料(備品)	10,000	10,000	0
緊急修繕料(建物)	40,000	40,000	0
<b>【役務費】</b>	85,000	85,000	0
電話料	30,000	30,000	0
回線使用料	55,000	55,000	0
<b>【委託料】</b>	4,661,000	4,661,000	0
環境配慮住宅型研修施設管理・運営支援委託料	4,461,000	4,461,000	0
環境配慮設備保守点検委託料	200,000	200,000	0
<b>【使用料及び賃借料】</b>	45,000	45,000	0
パーソナルコンピューター借上料	45,000	45,000	0
<b>環境政策課 環境係 計・・・①</b>	<b>38,996,000</b>	<b>30,223,000</b>	<b>8,773,000</b>

【参考】

### 令和4年度環境政策課緑と公園系の事業計画について

事業名	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	令和3年度対比
児童遊園・子供広場維持管理に要する経費	34,393,000	42,316	34,350,684
児童遊園・子供広場整備に要する経費	1,980,000	3,647,000	△ 1,667,000
緑地保全対策審議会に要する経費	277,000	277,000	0
緑地等維持管理に要する経費	47,869,000	44,385,000	3,484,000
都市公園等の維持管理に要する経費	38,328,000	34,547,000	3,781,000
都市公園等の整備に要する経費	62,743,000	289,823,000	△ 227,080,000
公園美化市民協働に要する経費	1,234,000	1,193,000	41,000
緑地の整備に要する経費	0	7,293,000	△ 7,293,000
みどりと公園基金積立金	1,000	1,000	0
環境政策課 緑と公園係 計・・・②	186,825,000	381,208,316	△ 194,383,316
環境政策課 計 (①+②)	225,821,000	411,431,316	△ 185,610,316

参考資料 1

小金井市地下水保全会議 委員名簿

令和4年4月1日現在

委員氏名	任期	任期数	選任区分
徳永 朋祥	令和4年4月1日 ～ 令和6年3月31日	3期	学識経験者 (東京大学大学院 教授)
石原 成幸	令和4年4月1日 ～ 令和6年3月31日	3期	学識経験者 (東京都土木技術支援・人材育成センター 技術支援課 課長代理)
山中 勝	令和4年4月1日 ～ 令和6年3月31日	3期	学識経験者 (日本大学 教授)
白木 克繁	令和4年4月1日 ～ 令和6年3月31日	1期	学識経験者 (東京農工大学大学院 准教授)
名取 雄太	令和4年4月1日 ～ 令和6年3月31日	3期	関係行政機関の職員 (東京都多摩環境事務所 環境改善課長)

第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画について

1 本市における温室効果ガス排出量削減目標について

(1) 温室効果ガス排出量削減目標について

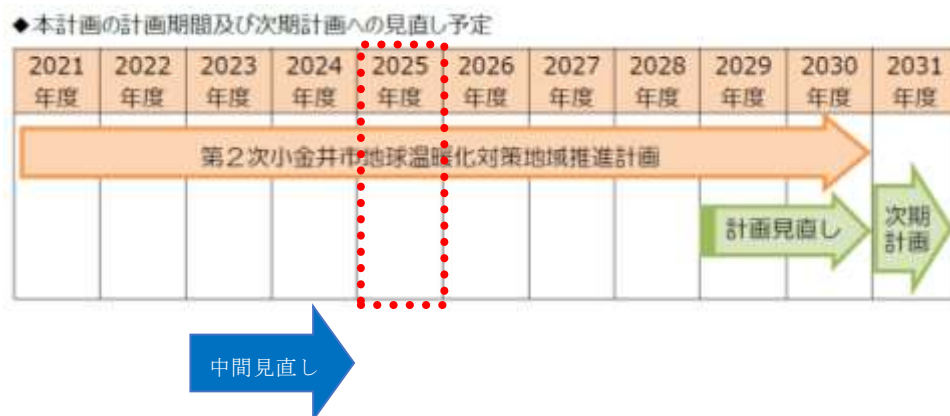
(2) 重点施策について

2 国、東京都及び本市の温室効果ガス削減目標について

	計画名称等	策定(改定)年月	温室効果ガス削減目標 (基準年度)
国	地球温暖化対策計画	2021年10月	<b>46.0%</b> (2013年度)
東京都	2030年までに温室効果ガスを 50%削減する 「カーボンハーフ」表明	2021年1月	50.0% (2000年度)
本市	第2次小金井市 地球温暖化対策地域推進計画	2021年3月	<b>26.0%</b> (2013年度)

3 本市における今後の方向性について

推進計画の計画期間と目標年度について



#### 4 多摩地域における温室効果ガス削減目標の設定について

	地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)の策定状況等	策定(改定)年月	温室効果ガス削減目標 (基準年度)	2050年ゼロ カーボン表明
八王子市	地球温暖化対策地域推進計画	2020年3月	33.1%(2013年度)	○
立川市	-	-	-	×
武蔵野市	地球温暖化対策実行計画 2021(区域施策編)2022 改訂	2022年4月	<b>46%</b> (2013年度)	○
三鷹市	地球温暖化対策実行計画 (第4期計画)	2019年3月	21.7%(2013年度)	×
青梅市	第2次環境基本計画	2015年3月	40%(2010年度)	○
府中市	地球温暖化対策地域推進 計画中間見直し	2017年1月	13%(2013年度)	○
昭島市	地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)	2022年3月	-	○
調布市	地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)	2021年3月	40%(2013年度)	○
町田市	環境マスタープラン	2022年3月	33%(2013年度)	○
小平市	第三次環境基本計画	2021年3月	30%(2013年度)	○
日野市	第4次地球温暖化対策実 行計画	2022年4月	46%(2005年度)	×
東村山市	第3次環境基本計画	2021年3月	37%(2013年度)	×
国分寺市	-	-	-	○
国立市	-	-	-	○
福生市	-	-	-	×
狛江市	環境基本計画・地球温暖化対 策実行計画(区域施策編)	2020年3月	36%(2013年度)	○
東大和市	-	-	-	×
清瀬市	-	-	-	×
東久留米市	-	-	-	×
武蔵村山市	-	-	-	×
多摩市	-	-	-	○
稲城市	第二次環境基本計画(改訂版)	2019年4月	21%(2013年度)	×
羽村市	地球温暖化対策地域推進 計画	2022年3月	<b>46%</b> (2013年度)	×
あきる野市	地球温暖化対策地域推進 計画	2014年6月	-	○
西東京市	第2次環境基本計画後期 計画	2019年3月	26%(2013年度)	○

(出展：各市ホームページ等)